# 202年度(令和4年度) 事業年報 Annual Report

公益財団法人 山口県予防保健協会

# 目次

協会について	3
概要、事業の目的、沿革	4
組織図(2024 年度)	5
役員名簿	6
評議員名簿	7
社会的責任の基本方針	8
行動基準	9
個人情報保護方針	10
2022(令和4)年度事業報告	11
1. 普及啓発事業	13
2-1. 受診者数の推移	16
2-2. 学校保健事業	17
2-3. 地域保健事業	18
ア) 胃がん検診	18
イ) 子宮頸がん検診	19
ウ)肺がん検診(エックス線)	20
エ) 肺がん検診(喀痰)	21
オ)乳がん検診	22
カ)前立腺がん検診	22
キ) 大腸がん検診	23
ク)特定健診	24
ケ) 骨粗しょう症検診	26
2-4. 職域保健事業	27
ア)胃がん検診	27
イ)子宮頸がん検診	28
ウ)肺がん検診(エックス線)	29
エ)肺がん検診(喀痰)	30
オ) 乳がん検診	31
カ)大腸がん検診	32
キ) 特定健診	33
ク)腹部超音波検診	35
ケ)前立腺がん検診	36
コ) 骨粗しょう症検診	37
サ) 特殊健康診断	38
シ)労災二次健診	39
ス)血液検査	40
セ) その他検査	43
2-5. 新生児先天性代謝異常検査	46
2-6. 特定保健指導	50
3. 新型コロナウイルス関連事業	52

# 協会について



#### 概要

名称 公益財団法人山口県予防保健協会

設立 1986年3月

所在地 山口県山口市吉敷下東三丁目1番1号

代表者 理事長 加藤 智栄 (山口県医師会 会長)

#### 事業の目的

この法人は、健康の保持増進、生活環境の保全など、公衆衛生の向上を図るため、がんをはじめとした各種の健康診断、生活習慣に関する保健指導、生活環境の調査及び分析、食品及び飲料水の検査などを行い、併せて、これらの事業により得られた成果等を基に広く啓発活動を実施し、もって新生児から高齢者まで、誰もがそのライフステージに応じて健康で、安心して暮らせる社会づくりに寄与することを目的としています。

#### 沿革

#### ●1974年5月

公衆衛生、労働衛生の向上及び社会福祉の発展に寄与することを目的とする公益法人と して「財団法人山口県予防衛生協会」を設立する。

●1975 年 4 月

名称を「財団法人山口県予防衛生医学協会」に改称する。

●1986年3月

「財団法人山口県予防衛生医学協会」と「財団法人結核予防会山口県支部」が統合し、 「財団法人山口県予防保健協会」を設立する。(「財団法人結核予防会山口県支部」を兼 ねる)

●1996年4月

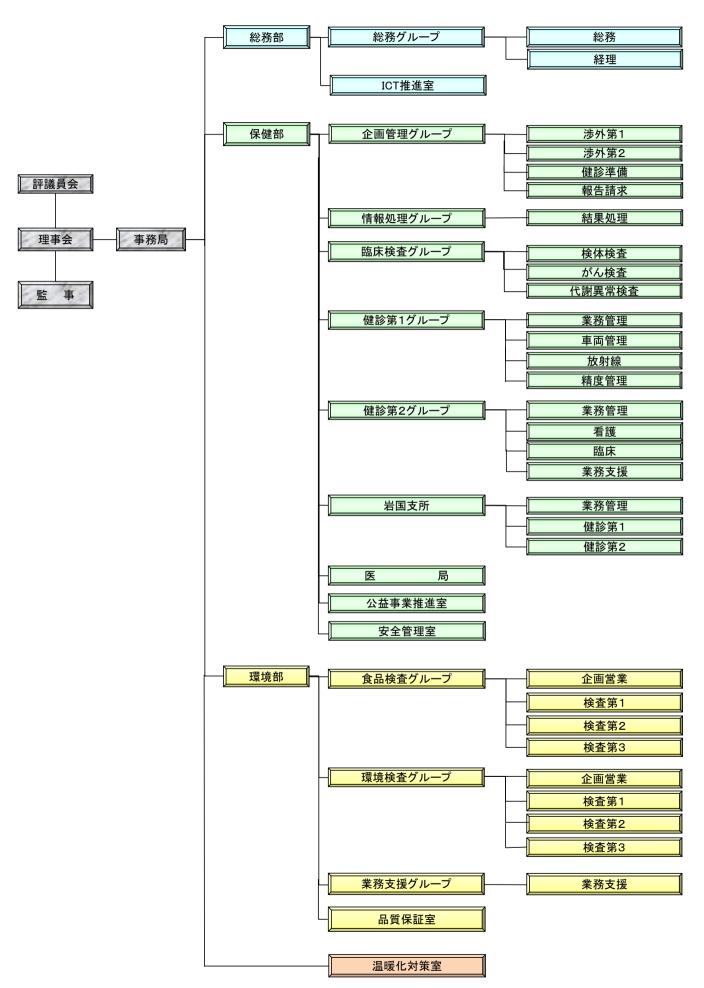
「財団法人山口県対がん協会」と合併。(「財団法人日本対がん協会山口県支部」を兼ねる)

●2013 年 4 月

山口県の認定を受け公益財団法人化し、名称を「公益財団法人山口県予防保健協会」に 改称する。

●2019 年 4 月

公益財団法人予防医学事業中央会に加盟する。(「公益財団法人予防医学事業中央会山口県支部」を兼ねる。)



役員名	常勤 /非常勤	氏名	推薦母体 所属
理事長	非常勤	加藤 智栄	山口県医師会 山口労災病院 院長
副理事長	非常勤	國吉 宏和	山口県 山口県健康福祉部長
副理事長	非常勤	松本 常男	山口県予防保健協会 山口宇部医療センター 名誉院長
専務理事	常勤	若林 芳典	山口県予防保健協会 山口県予防保健協会 専務理事
理 事	非常勤	神德 眞也	山口県病院協会 三田尻病院 理事長
理 事	非常勤	佐世 正勝	山口県産婦人科医会 山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター長・遺伝診療科 診療部長
理 事	非常勤	塩田 直樹	山口県産業医会 UBE(株)人事部健康推進センター 統括産 業医
理 事	非常勤	篠崎 圭二	山口県市長会 宇部市長
理 事	非常勤	中村 洋	山口県医師会 済生会湯田温泉病院 院長
理 事	非常勤	藤家 幸子	山口県連合婦人会 山口県連合婦人会 会長
理 事	非常勤	山田 勇	山口県予防保健協会 山口県予防保健協会 前専務理事
理 事	非常勤	米本 正明	山口県町村会 和木町長
監 事	非常勤	重村 和雄	税理士法人塩見会計事務所 税理士法人塩見会計事務所 代表社員

13名

氏名	推薦母体 所属	2024年4月1日現仕
赤川 悦夫	山口産業保健総合支援センター 山口産業保健総合支援センター 所長	
天津 曻次	山口県病院協会 山口県病院協会 参与	
浮田 正夫	山口県予防保健協会 山口大学 名誉教授	
沖中 芳彦	山口県医師会 沖中耳鼻咽喉科クリニック 院長	
栗元 教行	健康保険組合連合会山口連合会 健康保険組合連合会山口連合会 事務局長	
調 恒明	山口県 山口県環境保健センター 所長	
関根 雅彦	山口県予防保健協会 山口大学 名誉教授	
高橋 幸広	山口県 山口健康福祉センター 所長	
堤 雄介	山口県産業医会 堤労働衛生コンサルタント事務所	
長谷川 奈津江	山口県医師会 長谷川眼科琴芝クリニック 院長	
本多 昭洋	山口県市町総合事務局 山口県市町総合事務局 事務局長	

11名

# 公益財団法人山口県予防保健協会 社会的責任の基本方針

当協会は、健康の保持増進、生活環境の保全など、公衆衛生の向上を図るため、がんをはじめとした各種の健康診断、生活習慣に関する保健指導、生活環境の調査及び分析、食品及び飲料水の検査などを行い、併せて、これらの事業により得られた成果等を基に広く啓発活動を実施し、もって新生児から高齢者まで、誰もがそのライフステージに応じて健康で、安心して暮らせる社会づくりに寄与することを目的として事業を進めます。

当協会は、責任ある公益財団法人として、以下のことについて自主的かつ継続的に取り組んでまいります。

- 1 法令遵守の徹底と倫理観の確立
- 2 健康診断・食品や環境検査を通じ社会への貢献
- 3 精度管理を徹底し、高品質なサービスの提供
- 4 情報開示及びセキュリティ対策の実施
- 5 公正な競争・取引、適正な事業活動
- 6 地球環境保護に配慮した適切な行動

# 公益財団法人山口県予防保健協会職員行動基準

# Quality Of Life

私たちは 皆さまの 生活の質を高めるため 心身の健康と安心して快適に暮らせる環境づくりに貢献します

Quality

Life

私たちは、磨き抜いた技術、行き届いた 心配りにより、皆さまに満足をいただける 一流のサービスを提供します。 私たちは、公衆衛生の向上に努め、 皆さまが健康で、快適に暮らせる 地域社会の創出を目指します。

Quality Of Lifeに込めた思い

私たちは、皆さまから地域の中で最高の信頼を得られるよう、 皆さまの大切な生命と健康に携わる者として、一人、ひとりが 使命と誇りを持って行動します。

Of

# 個人情報保護方針

公益財団法人山口県予防保健協会は、健康の保持増進、生活環境の保全など、公衆衛生の向上を図るため、がんをはじめとした各種の健康診断、生活習慣に関する保健指導、生活環境の調査及び分析、食品及び飲料水の検査などを行い、併せて、これらの事業により得られた成果等を基に広く啓発活動を実施し、もって新生児から高齢者まで、誰もがそのライフステージに応じて健康で、安心して暮らせる社会づくりに寄与することを目的としています。

それらに関連して、皆様から取得いたしました個人情報につきましては、正確かつ安全に 取扱い、保護・管理に万全を期するために、職員に対する指導を徹底強化し、個人情報の紛 失、改ざん及び漏洩等が発生しないよう、万全なる安全対策を継続的に講じていくため、次 のとおり宣言します。

- 1 当協会の実施している事業で労働安全衛生法、学校保健法、母子健康法、原爆医療法及 び感染症法等に係る健康診断又はがん検診、全国健康保険協会生活習慣病予防健診並びに 生活環境の保全に関する検査、食品の安全衛生に関する検査の事業活動において、適正な 個人情報の取得、利用及び提供が確実に実施されるような体制を維持します。
- 2 個人情報を取得するに当たっては、利用目的を明示するとともに、その利用については 同意が得られた範囲内での利用・提供に限定し、目的外利用はいたしません。また、当協 会が保有する個人情報を読影等で外部委託する場合は、委託先の評価・管理を実施し、安 全な保護水準を維持します。
- 3 当協会が取扱う個人情報へのあらゆるリスク(漏洩、滅失又はき損)に対し、効果的な 安全対策等の予防措置を講ずるとともに、リスク発生時には速やかに是正処置を講じるこ とにより、再発を防止します。
- 4 個人情報に関する苦情及び相談に対して速やかに対応いたします。
- 5 個人情報保護のため、個人情報保護規程のほか、各種管理細則を定め、定期的な内部監査等を通じて継続的な改善を行うとともに、法令の改正、国の定める指針等を注視し、社会情勢の変化等に適合した管理体制を維持します。

制 定 日 2007年10月 7日 最終改訂日 2022年 8月 4日

公益財団法人山口県予防保健協会 理事長 加藤智栄

#### 個人情報相談窓口

総務部 一般的な個人情報に関すること

保健部 健康診断に関すること

TEL 083-933-0008 FAX 083-923-5567

環境部 水質、その他の検査に関すること

TEL 083-941-6300 FAX 083-941-6400

# 2022 (令和4) 年度事業報告

集計期間は2022年4月1日から2023年3月31日精密検査結果は2023年12月1日時点での集計







#### 2022(令和4)年度事業報告

#### 総括的事項

2022年度については、コロナ禍を契機とした社会環境変化等に自律的に対応できる現場力を高めながら、事業計画の確実な実行に努めた結果、事業収益は2,345,910千円と、事業計画を4.3%上回った。各事業の展開は次のとおりである。

公益目的事業として実施した保健事業(公1)については、コロナ禍からの社会経済活動の回復が進み、新型コロナウイルス関連事業が縮小する中、主力の健診事業の回復に注力し、事業収益が1,701,751千円と、事業計画を4.7%上回った。

当該事業のうち、健康の保持増進等に係る普及啓発業務については、行政や関係団体との連携・協力の下、がんをはじめとする生活習慣病等の疾病の予防や、健康の保持増進に関する普及啓発を図り、県民が健康で安心して暮らせる社会づくりに貢献した。また、健康診断業務については、長期化するコロナ禍において、健診実施機関として適切な感染症対策を行い、安心安全な受診環境を確保し、業務継続・受診率回復を図りながら、業績の維持向上に努めた。さらに、前年度に引き続き、県、県医師会等と連携しながら、新型コロナワクチン接種をはじめとする新型コロナウイルス対策に貢献した。

温暖化防止事業(公2)については、脱炭素社会の実現に向けた社会的機運が高まる中、事業が拡大し、事業収益が19,904千円と、事業計画を47.4%上回った。

当該事業は、県より指定を受けた山口県地球温暖化防止活動推進センターとして、国や県等の 民間団体向け補助・委託事業を積極的に受託し、啓発・広報活動を通じて地域における温室効果 ガス排出削減等の取組の促進に努めた。また、関連法の改正に伴い新たな役割として位置づけら れた事業者に対する脱炭素化に向けた取組の啓発・広報活動を積極的に推進した。

収益事業として実施した環境事業(収)については、複眼的な視点による販路拡大に取り組み、 好調を維持し、事業収益が624,254千円と、事業計画を2.3%上回った。

当該事業のうち、環境保全業務及び飲用水検査業務については、依然として厳しい受注環境が続くものの、県内外を問わずに新たな市場の開拓を図り、業績の維持向上に努めた。また、全国を市場として展開する食品検査業務については、DX化等を通じて商品・サービスの高付加価値化を図り、顧客基盤の拡大に努めた。さらに、作業環境測定業務において、関連法の改正に伴い金属アーク溶接等作業に係る健康障害防止措置が義務化されたことから、新たな業務として「マスクフィットテスト」を立ち上げ、事業の拡充を図った。

業務実施報告 (単位:千円)

	計 画(A)	実 績(B)	前年度実績(C)	B/A(%)
保健事業(公1)	1, 625, 591	1, 701, 751	2, 240, 029	104. 7
温暖化防止事業(公 2)	13, 504	19, 904	13, 238	147. 4
環境事業(収)	610, 400	624, 255	628, 180	102. 3
合 計	2, 249, 495	2, 345, 910	2, 881, 447	104. 3

#### 1. 普及啓発事業

#### ■リレー・フォー・ライフ・ジャパンやまぐち

地域でつながるがん征圧・がん患者支援のためのイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2022 やまぐち」を維新百年記念公園維新大晃アリーナにて、10月22日(土)に開催しました。

今年、7回目となるリレー・フォー・ライフ・ジャパンやまぐちは初めての室内で、3年ぶりに開催できました。200名の方に参加していただき、会場にはたくさんのルミナリエが並べられ、HOPEが綺麗に輝いていました。また、実行委員が参加者に寄り添い、話しかけて一緒に歩き、楽しんでいる様子を見て、参加者も実行委員も楽しめる温かいリレーをこれからも続けていきたいと思いました。







#### ■芸術村フェスティバル

6月26日(日) 秋吉台国際芸術村で開催されました。

リレー・フォー・ライフ・ジャパンやまぐちの実行委員の方々と、がん患者支援活動を写 真などの展示にて啓発活動を行いました。また、募金活動やグッズ販売をしました。





#### ■ピンクリボンイベント

10月のやまぐちピンクリボン月間にあたり、10月8日(土)乳がんに関する県民公開講座 「ピンクリボン in やまぐち 2022」を山口県健康づくりセンター多目的ホールで、共催として公益財団法人山口県健康福祉財団とともに開催しました。

#### ■がん征圧月間の啓発

厚生労働省は毎年9月をがん征圧月間と定め、がん予防に対する意識啓発を目的として、 適切な予防や早期発見、早期治療を呼び掛けています。

昨年度に引き続き、防長交通株式会社様の協力を得て、県内の各エリア(柳井市、周南市、 下松市、防府市、山口市、萩市等)14路線のバスで広報するとともに、山口県総合保健会館 に垂幕を掲示しました。

また、株式会社西部毎日広告社様、株式会社読売広告西部様、株式会社宇部日報様、株式会社朝日広告社様、株式会社サンデー山口様の協力を得て、新聞各社に公告を掲載し啓発活動をしました。

#### ■世界禁煙デー

世界保健機関(WHO)は、平成元年に5月31日を「世界禁煙デー」と定め、喫煙しないことが一般的な社会習慣となることを目指しはじめました。厚生労働省においても平成4年から世界禁煙デーの始まる1週間(5月31日~6月6日)を「禁煙週間」として定めています。

株式会社サンデー山口様の協力を得て、5月28日(土)の新聞に公告を掲載し啓発活動を 行いました。

#### ■世界糖尿病デー

国際連合は毎年 11 月 14 日を世界糖尿病デーに認定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養について啓発運動を推進することとしました。世界糖尿病デーを含み一週間を「全国糖

尿病週間」として啓発運動が行われています。糖尿病に対する誤った情報や偏見をなくし、 糖尿病患者の権利を守ることが、適切な治療や重症化予防につながると呼びかけています。

糖尿病の予防や治療継続の重要性について、株式会社サンデー山口様の協力を得て、11月9日(水)に公告を掲載し啓発しました。

#### ■その他の啓発

結核予防週間(9月)、生活習慣病予防月間(1月)を株式会社サンデー山口様の協力を得て広く啓発を行いました。

#### ■複十字シール運動

8月19日(金)に結核予防の知識の普及啓発や複十字シール運動の推進への協力要請のため、山口県結核予防婦人会(山口県連合婦人会)の皆様と当協会理事長が村岡嗣政山口県知事を表敬訪問しました。結核予防マスコットキャラクターの「シールぼうや」のぬいぐるみや啓発資料、グッズ等を贈呈しました。





#### ■山口県連合婦人会リーダー相互研修会

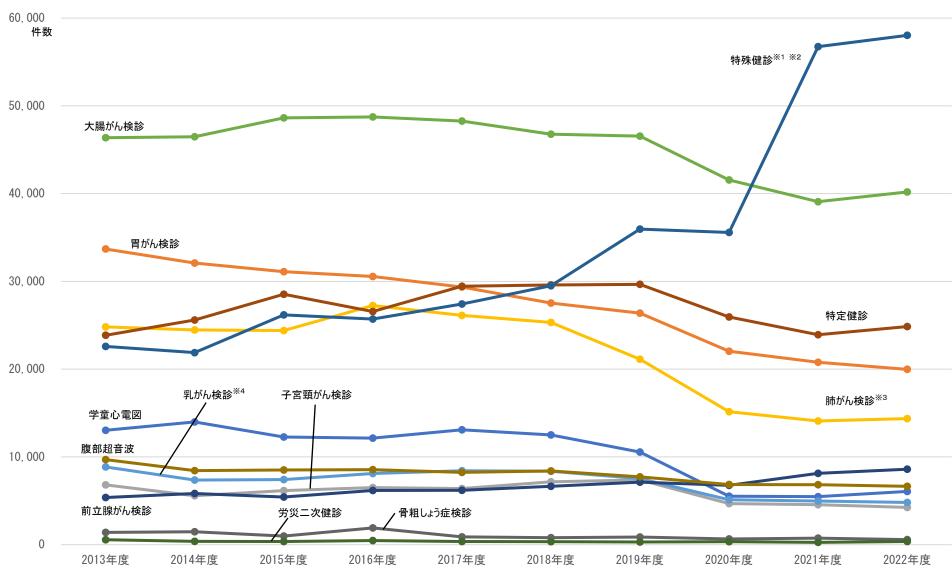
11月16日(水)山口県総合保健会館多目的ホールにて、研究テーマ「未来に向けた活動の模索~withコロナの婦人会活動~」とし開催され、当協会の保健部次長田部一則が「複十字シール運動と普及啓発について」と題し、講演を行いました。





# 2-1. 受診者数の推移

#### 図1 検診種別による受診者数(件数)の推移



<sup>\*\*&</sup>lt;sup>1</sup>特殊健診は延べ人数で算出した \*\*<sup>2</sup>2021 年度に各項目の集計方法の見直しを行ったため、件数が増加した \*\*<sup>3</sup>肺がん検診は胸部 X 線検査と喀痰検査の合計 \*<sup>4</sup>乳がん検診は視触診、マンモグラフィー検査、乳腺超音波検査の合計

#### 2-2. 学校保健事業

#### ■胸部検診

胸部検診を実施した結果、判定の内訳は表1のとおりであった。 胸部検診の要精検率は0.22%であった。

#### 表 1 胸部検診の実施成績

判	定	異常なし	有所見者数	要精密検査	合計
件	数	3, 192	9	7	3, 208
9	%	99. 5	0. 28	0. 22	100.0

#### ■血液検査

貧血検査を実施した結果、判定の内訳は表2のとおりであった。 貧血検査の要精検率は6.4%であり、前年度5.0%と比べて1.4ポイント増加した。

表 2 貧血検査の実施成績

判	定	異常なし	特に支障なし	要生活注意	要精密検査	合計
件	数	188	46	12	17	263
ģ	%	71. 5	17. 5	4. 6	6. 4	100.0

#### ■心電図検査

心電図検査の実施数は6,066件、前年度は5,476件で590件増加した。

学校保健事業における心電図検査は、検査のみの受託や判読までの受託があり、全体の件数の内、結果を電算登録しているデータから得た判定の内訳は表3のとおりであった。 要精検率は1.9%であり、前年度1.3%と比べて0.6ポイント増加した。

表3 心電図検査の実施成績

判	定	異常なし	要経過観察	要精密検査	要医療要治療	合計
件	数	5, 774	177	115	0	6, 066
%		95. 2	2. 9	1. 9	0	100. 0

# 2-3. 地域保健事業

# ア) 胃がん検診

胃がん検診の受診者数とその結果は表 4 のとおりであった。要精検率は 5.9%で、前年度 6.8%と比べて 0.9 ポイント減少した。

精検受診率は53.8%であった。

表 4 胃がん検診の実施成績

	年	受	要	要	精					精		検	并	洁	果				
	描令	診	精	精	検 受	食	食	食道	胃	胃	胃 ポ	粘 膜	巨.	萎 縮	びら	胃	+ =	+ =	異
	階	者	検 者	検 率	診者	道 が	道潰	その	が	潰	IJ	下潰	大皺	性胃	ん 性 胃	その	指腸潰	指腸	常な
	級	数	数	%	数	h	瘍	他	ん	瘍	プ	瘍	壁	炎	炎	他	瘍	他	L
男	40~44 歳	252	10	4. 0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
性	45~49 歳	310	18	5.8	8	0	0	1	0	0	3	0	0	4	2	1	1	0	0
	50~54 歳	304	13	4. 3	7	0	0	4	0	0	2	0	0	0	2	2	0	2	0
	55~59 歳	212	19	9.0	9	0	0	1	0	0	3	0	0	1	4	0	0	0	1
	60~64 歳	188	10	5. 3	3	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0
	65~69 歳	109	13	11.9	7	0	0	5	0	0	0	0	0	4	2	2	0	0	1
	70~74 歳	58	5	8. 6	3	0	0	2	0	0	1	0	0	2	0	2	0	0	0
	75~79 歳	19	3	15.8	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	80 歳~	7	1	14. 3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	計	1, 459	92	6. 3	43	0	0	13	1	2	11	1	0	13	10	8	2	2	5
女	40~44 歳	91	2	2. 2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
性	45~49 歳	117	6	5. 1	6	0	0	1	0	0	0	0	0	4	2	1	0	0	1
	50~54 歳	100	4	4. 0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	55~59 歳	68	5	7. 4	4	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0
	60~64 歳	55	2	3. 6	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0
	65~69 歳	36	3	8. 3	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1
	70~74 歳	25	1	4. 0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	75~79 歳	13	2	15. 4	2	0	0	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0
	80 歳~	6	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	計	511	25	4. 9	20	0	0	4	0	0	6	0	0	10	4	2	0	2	3
	合 計	1, 970	117	5. 9	63	0	0	17	1	2	17	1	0	23	14	10	2	4	8

#### イ)子宮頸がん検診

子宮頸がん検診の受診者数とその結果は表 5 のとおりであった。要精検率は 1.6% (NILM\*を除いた場合は 0.4%) で、前年度 0.7%と比べて 0.9 ポイント増加した。

精検受診率は23.7%、子宮頸がんは0人であった。

表 5 子宮頸がん検診の実施成績

年	受	要	要	要	精		精	検	結	果
凿令	診	精 検	精 検	精 検	検 受	子		異	その	異
階	者	者	率	率 %	診 者	宮 が		形	他疾患	常 な
級	数	数	%	<b>%</b> 1	数	٨	,	成	患	L
~24 歳	35	1	2. 9	0.0	0	_	-	_	_	_
25~29 歳	66	5	7. 6	3.0	2	C	)	2	0	0
30~34 歳	110	3	2. 7	0.9	1	C	)	1	0	0
35~39 歳	153	6	3. 9	1.3	1	C	)	1	0	0
40~44 歳	192	4	2. 1	1.0	3	C	)	1	2	0
45~49 歳	150	10	6. 7	0.7	1	C	)	1	0	0
50~54 歳	152	0	0.0	0.0	_	-	-	_	_	_
55~59 歳	159	2	1.3	0.0	0	-	-	_	_	_
60~64 歳	249	1	0.4	0.4	1	C	)	0	0	1
65~69 歳	318	2	0.6	0.0	0	-	-	_	_	_
70~74 歳	434	3	0. 7	0.0	0	-	-	_	_	_
75~79 歳	264	1	0.4	0.0	0	-	-	_	_	_
80 歳~	120	0	0.0	0.0	_		-	_		
計	2, 402	38	1.6	0.4	9	C	)	6	2	1

<sup>\*\*1</sup> NILM 除く

<sup>\*\*</sup>Negative for Intraepithelial Lesion or Malignancy:推定病理診断「非腫瘍性病変 HPV 感染以外の炎症所見」の意。出典 「ベゼスタシステムの基礎と実践ーその理解のために」日本細胞診断学推進協会細胞検査士会

# ウ) 肺がん検診(エックス線)

肺がん検診 (x y / 2 x / 3) の受診者数とその結果は表 6 のとおりであった。要精検率は 3.5% で、前年度 3.0% と比べて 0.5 ポイント増加した。

精検受診率は19.3%であった。

表 6 肺がん検診(エックス線)の実施成績

	年	受	要	要	精		精	検	結	果	
	歯令	診	精	精	検	原	肺	そ	肺	そ	異
	图印	砂	検	検	受	発 性	が	の	<i>1</i> ,-1-	の	常
	階	者	者	率	診 者	肺	ん 疑	他 が	結	他 疾	な
	級	数	数	%	数	が ん	ر) پر	ル ん	核	患	L
男	40~44 歳	114	2	1. 8	2	0	0	0	0	1	1
性	45~49 歳	82	3	3. 7	1	0	1	0	0	0	0
	50~54 歳	91	4	4. 4	1	0	0	0	0	0	0
	55~59 歳	88	1	1. 1	0	_	_	_	_	_	_
	60~64 歳	226	4	1.8	1	0	0	0	0	1	0
	65~69 歳	507	17	3. 4	2	0	0	0	0	0	0
	70~74 歳	872	31	3.6	2	0	1	0	0	0	0
	75~79 歳	798	43	5. 4	7	0	1	0	0	1	0
	80 歳~	879	51	5.8	10	1	2	0	0	5	0
	計	3, 657	156	4. 3	26	1	5	0	0	8	1
女	40~44 歳	341	3	0. 9	1	0	0	0	0	0	1
性	45~49 歳	303	8	2. 6	4	0	0	0	0	2	0
	50~54 歳	310	5	1.6	2	0	0	0	0	2	0
	55~59 歳	336	10	3. 0	2	0	0	0	0	1	0
	60~64 歳	606	16	2. 6	6	0	1	0	0	5	0
	65~69 歳	994	33	3. 3	2	0	1	0	0	1	0
	70~74 歳	1, 399	49	3. 5	11	0	0	0	0	8	0
	75~79 歳	1, 110	40	3. 6	7	0	2	0	0	3	0
	80 歳~	1, 030	37	3. 6	8	1	1	1	0	3	0
	計	6, 429	201	3. 1	43	1	5	1	0	25	1
	合 計	10, 086	357	3. 5	69	2	10	1	0	33	2

# エ) 肺がん検診(喀痰)

肺がん検診(喀痰)の受診者数とその結果は表7のとおりであった。要精検者数は0人で、 前年度と同じであった。

表 7 肺がん検診(喀痰)の実施成績

	年	受	要	要	精		精	検	結	果	
	婚令	診	精	精	検	原	肺	そ	肺	そ	異
			検	検	受 診	原 発 性 肺	が	の	4+	の	常
	階	者	者	率	者	 肺 が	ん 疑	他 が	結	他 疾	な
	級	数	数	%	数	ん	l'	ん	核	患	L
男	40~44 歳	0	0	_	_		_	_	_	_	_
性	45~49 歳	2	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	50~54 歳	6	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	55~59 歳	4	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	60~64 歳	8	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	65~69 歳	36	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	70~74 歳	57	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	75~79 歳	58	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	80 歳~	48	0	0.0	_		_	_	_	_	_
	計	219	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
女	40~44 歳	1	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
性	45~49 歳	0	0	_	_	_	_	_	_	_	_
	50~54 歳	3	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	55~59 歳	1	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	60~64 歳	5	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	65~69 歳	2	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	70~74 歳	5	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	75~79 歳	2	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	80 歳~	2	0	0.0				_	_	_	_
	計	21	0	0. 0	_	_	_	_	_	_	_
	 合 計	240	0	0. 0	_		_	_	_	_	_

#### オ)乳がん検診

乳がん検診の受診者数とその結果は表 8 のとおりであった。要精検率は 11.3%で、前年度 8.8%と比べて 2.5 ポイント増加した。

精検受診率は29.2%であった。

表8 乳がん検診(マンモグラフィー検査)の実施成績

年	受	要	要	精		精	検・	吉 果	
嵌令	診	精	精	検	乳	乳	線	そ	異
ΔΊ	<b>1</b> 2	検	検	受 <del>-</del> ^			維	ر د	常
階	者	者	率	診 者	が	腺	腺	他 疾	な
級	数	数	%	数	h	症	腫	患	L
 40~44 歳	235	31	13. 2	12	0	1	4	5	4
45~49 歳	210	29	13.8	11	1	3	0	2	6
50~54 歳	209	35	16. 7	12	0	2	2	3	5
55~59 歳	189	18	9. 5	6	0	2	2	1	1
60~64 歳	288	34	11.8	11	1	3	1	0	7
65~69 歳	363	34	9. 4	9	0	1	3	3	3
70~74 歳	440	41	9.3	6	0	0	0	1	5
75~79 歳	251	24	9. 6	4	0	0	1	0	3
80 歳~	145	18	12. 4	6	0	1	0	1	5
計	2, 330	264	11.3	77	2	13	13	16	39

#### カ) 前立腺がん検診

前立腺がん検診の受診者数とその結果は表9のとおりであった。要精検率は7.4%で、前年度3.8%と比べて3.6ポイント増加した。

精検受診率は21.4%、前立腺がん及び前立腺がん疑いはいなかった。

表 9 前立腺がん検診の実施成績

~										
年	受	要	要	精		<b>*</b>	<b>清</b> 検	結	果	
始令	診	精	精	検	前	前	前	前	そ	異
		検	検	受 診	立 腺	立 腺 が	$\overline{\Delta}$	前 立 腺 肥	の 他	常
階	者	者	率	者	が	が ん	腺	肥 大	疾	な
級	数	数	%	数	6	疑	炎	症	患	し
40~44 歳	3	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
45~49 歳	2	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
50~54 歳	7	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
55~59 歳	11	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
60~64 歳	16	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
65~69 歳	42	6	14. 3	1	0	0	0	1	0	0
70~74 歳	69	6	8. 7	2	0	0	0	1	0	1
75~79 歳	18	1	5.6	0	_	_	_	_	_	_
80 歳~	20	1	5. 0	0		_	_	_	_	_
計	188	14	7. 4	3	0	0	0	2	0	1

# キ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者数とその結果は表 10 のとおりであった。要精検率は 4.7%で、前年度 5.7%と比べて 1.0 ポイント減少した。

精検受診率は60.4%、がんの陽性反応的中率は3.5%であった。

表 10 大腸がん検診の実施成績

	年	受	要	要	精	 	精	検 結	果	
	厳令	診	精	精	検	大	ポ	憩	そ	異
	階	者	検	検	受 診	腸	IJ		の 他	常
			者	率	者	が	1		他 疾	な
	級	数	数	%	数	ん	プ	室	患	し
男	40~44 歳	91	5	5. 5	2	0	1	0	1	0
性	45~49 歳	70	2	2. 9	2	0	1	0	0	1
	50~54 歳	79	1	1.3	1	0	0	0	0	1
	55~59 歳	83	1	1. 2	1	0	1	0	0	0
	60~64 歳	155	5	3. 2	3	0	3	1	0	0
	65~69 歳	336	19	5. 7	11	1	6	2	2	2
	70~74 歳	497	23	4. 6	14	2	10	1	3	1
	75~79 歳	524	38	7. 3	27	0	17	6	4	7
	80 歳~	548	47	8.6	24	 2	17	5	5	2
	計	2, 383	141	5. 9	85	5	56	15	15	14
女	40~44 歳	234	11	4. 7	7	0	2	0	2	3
性	45~49 歳	237	5	2. 1	4	0	0	0	3	1
	50~54 歳	268	9	3.4	7	0	5	0	3	1
	55~59 歳	280	14	5.0	8	0	4	1	1	2
	60~64 歳	407	10	2. 5	5	0	2	1	0	2
	65~69 歳	598	20	3. 3	15	2	9	1	1	5
	70~74 歳	852	27	3. 2	16	0	7	5	4	2
	75~79 歳	677	42	6. 2	25	2	18	3	5	4
	80 歳~	613	32	5. 2	16	2	10	2	2	2
	計	4, 166	170	4. 1	103	 6	57	13	21	22
	合 計	6, 549	311	4. 7	188	 11	113	28	36	36

# ク) 特定健診

特定健診の受診者数とその結果は表 11-(1)~(3)のとおりであった。メタボリックシンドローム判定の基準該当割合は 14.6%で、前年度 12.1%と比べて 2.5 ポイント増加した。

表 11-(1) 基準該当割合

基準該当者数(人) 319 受 診 者 数(人) 2,178 基準該当割合(%) 14.6

表 11-(2) 特定健診の実施成績

	年	受	メタオ	ドリック	シンドロ	コーム	ß	皆	層    1	٢	t= 1	<b>ず</b> こ	肥清	<b>声</b> 度	血	圧	尿核	查
	齢階	診者	基 準 該	予備軍該	非 該	判 定 不	積 極 的 支	動機付け支	情 報 提	判 定 不	吸	吸 わ な	実 施	有所見者	実施	有所見者	実 施	有 所 見 者
	級	数	当	当	当	能	援	支 援	供	能	う	い	数	数	数	数	数	数
男	40~44 歳	40	5	7	28	0	9	5	26	0	14	26	40	21	40	16	40	3
性	45~49 歳	41	11	12	18	0	18	4	19	0	15	26	41	28	41	18	41	6
	50~54 歳	31	6	6	19	0	7	5	19	0	8	23	31	13	31	15	31	3
	55~59 歳	42	11	5	26	0	13	6	23	0	14	28	42	21	42	20	42	2
	60~64 歳	67	14	16	37	0	16	14	37	0	20	47	67	39	67	38	67	10
	65~69 歳	234	60	34	140	0	0	102	132	0	52	182	234	121	234	133	234	40
	70~74 歳	394	111	75	208	0	0	188	206	0	71	323	394	214	394	234	394	60
	計	849	218	155	476	0	63	324	462	0	194	655	849	457	849	474	849	124
女	40~44 歳	45	0	4	41	0	0	8	37	0	4	41	45	21	45	7	45	2
性	45~49 歳	54	0	1	53	0	0	6	48	0	3	51	54	24	54	12	54	5
	50~54 歳	60	6	4	50	0	7	9	44	0	4	56	60	30	60	21	60	2
	55~59 歳	79	4	3	72	0	6	7	66	0	8	71	79	29	79	28	79	4
	60~64 歳	203	16	15	172	0	16	19	168	0	4	199	203	72	203	74	203	12
	65~69 歳	357	22	28	307	0	0	66	291	0	13	344	357	121	357	175	357	20
	70~74 歳	531	53	41	437	0	0	107	424	0	18	513	531	191	531	291	531	37
	計	1, 329	101	96	1, 132	0	29	222	1, 078	0	54	1, 275	1, 329	488	1, 329	608	1, 329	82
	合 計	2, 178	319	251	1, 608	0	92	546	1, 540	0	248	1, 930	2, 178	945	2, 178	1, 082	2, 178	206

表 11-(3) 特定健診の実施成績

	年	受	肝機	能能	脂	質	ф	糖	貧	血	心電	図	眼	底	腎 機	能
	凿令	診	実	有 所	実	有 所	実	有 所								
	階	者	施	見 者	施	見 者	施	見 者								
	級	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数
男	40~44 歳	40	40	15	40	30	40	6	39	0	38	3	0	0	40	1
性	45~49 歳	41	41	20	41	31	41	14	40	0	40	7	6	4	41	3
	50~54 歳	31	31	14	31	27	31	6	30	0	30	5	4	1	30	1
	55~59 歳	42	42	27	42	33	42	17	41	1	40	10	5	3	41	6
	60~64 歳	67	67	31	67	43	67	26	64	2	63	10	7	6	65	5
	65~69 歳	234	234	83	234	151	234	90	223	21	221	50	31	20	231	53
	70~74 歳	394	394	113	394	249	394	207	374	52	374	111	55	31	392	97
	計	849	849	303	849	564	849	366	811	76	806	196	108	65	840	166
女	40~44 歳	45	45	6	45	16	45	4	33	9	32	1	0	0	35	1
性	45~49 歳	54	54	3	54	26	54	9	34	9	34	3	5	3	35	3
	50~54 歳	60	60	13	60	44	60	9	48	6	48	3	2	1	49	1
	55~59 歳	79	79	17	79	55	79	22	66	13	67	5	9	8	69	7
	60~64 歳	203	203	29	203	148	203	52	170	14	170	27	17	9	179	23
	65~69 歳	357	357	57	357	263	357	135	325	31	325	70	32	21	336	48
	70~74 歳	531	531	89	531	377	531	204	500	54	496	115	73	32	511	114
	計	1, 329	1, 329	214	1, 329	929	1, 329	435	1, 176	136	1, 172	224	138	74	1, 214	197
	 合 計	2, 178	2, 178	517	2, 178	1, 493	2, 178	801	1, 987	212	1, 978	420	246	139	2, 054	363

# ケ) 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症検診(骨密度検査)の受診者数とその結果は表 12 のとおりであった。有所見率は 47.8%で、前年度 56.5%と比べて 8.7 ポイント増加した。

表 12 骨粗しょう症検診の実施成績

20 12	日本 TO A D A D A D A			只
	年	受	有	有
	龄	診	所	所
	階	者	見	見変
	級	数	者 数	率 %
,				
男	~39 歳	_	_	_
性	40~44 歳	_	_	_
	45~49 歳	_	_	_
	50~54 歳	_	_	_
	55~59 歳	_	_	_
	60~64 歳	_	_	_
	65~69 歳	_	_	_
	70~74 歳	_	_	_
	75 歳~	_	_	_
•	計	_	_	_
女	~39 歳	0	0	_
性	40~44 歳	12	1	8. 3
	45~49 歳	1	0	0.0
	50~54 歳	5	0	0.0
	55~59 歳	8	2	25. 0
	60~64 歳	13	4	30.8
	65~69 歳	25	17	68. 0
	70~74 歳	39	24	61. 5
	75 歳~	10	6	60. 0
	計	113	54	47. 8
	合 計	113	54	47. 8

#### 2-4. 職域保健事業

# ア) 胃がん検診

胃がん検診の受診者数とその結果は表 13 のとおりであった。要精検率は 5.6%で、前年度 4.8% と比べて 0.8 ポイント増加した。

精検受診率は41.8%であった。

表 13 胃がん検診の実施成績

年	受	要	要	精					精		検	i	結	果				
描令	診	精 検	精 検	検 受	食道	食道	食道	胃	胃	胃 ポ	粘 膜	巨大	萎 縮	びら	胃そ	+	+ =	異常
階	者	者	率	診 者	垣 が	潰	その	が	潰	IJ l	下潰	皴	性胃	ん 性胃	の	二指腸潰	指 腸	币 な
級	数	数	%	数	ん	瘍	他	ん	瘍	プ	瘍	壁	炎	炎	他	瘍	他	L
男 ~39 歳	1, 906	61	3. 2	25	0	0	9	0	1	3	2	0	7	7	0	3	1	4
性 40~44 歳	1, 863	95	5. 1	31	0	1	4	0	0	9	0	0	8	6	3	1	2	4
45~49 歳	2, 122	85	4. 0	32	0	0	11	0	1	4	0	0	11	6	4	2	3	11
50~54 歳	2, 113	97	4. 6	36	0	0	4	0	1	9	1	0	10	11	1	0	3	8
55~59 歳	1, 789	123	6. 9	38	0	0	6	0	3	7	0	0	13	7	5	1	2	11
60~64 歳	1, 445	128	8. 9	51	0	1	11	1	5	9	4	1	14	19	7	5	4	7
65~69 歳	734	83	11.3	32	0	1	7	2	2	6	1	0	11	8	1	2	3	4
70~74 歳	483	39	8. 1	20	0	0	3	1	1	6	1	0	9	5	4	0	2	0
75~79 歳	203	21	10.3	9	0	0	1	0	1	2	0	0	5	0	1	0	2	0
80 歳~	120	12	10.0	7	0	0	4	0	0	0	0	0	4	3	2	0	1	1
計	12, 778	744	5. 8	281	0	3	60	4	15	55	9	1	92	72	28	14	23	50
女 ~39 歳	513	15	2. 9	7	0	0	1	0	0	3	0	0	2	1	1	0	2	1
性 40~44 歳	660	23	3. 5	14	0	0	0	0	0	5	0	1	2	1	2	0	0	5
45~49 歳	872	35	4. 0	18	0	0	1	0	0	4	1	0	0	6	3	0	1	6
50~54 歳	929	39	4. 2	14	0	0	2	0	1	8	0	1	3	2	3	0	1	2
55~59 歳	700	30	4. 3	19	0	0	4	0	0	6	0	0	3	6	2	0	1	2
60~64 歳	598	33	5. 5	21	0	0	0	0	0	7	2	0	5	5	3	0	2	4
65~69 歳	378	22	5.8	11	0	0	3	0	1	2	2	0	6	1	3	0	1	1
70~74 歳	306	33	10.8	21	0	0	5	0	0	2	2	0	11	4	4	2	0	2
75~79 歳	164	12	7. 3	7	0	0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	0	2	1
80 歳~	108	15	13. 9	5	0	0	0	1	0	0	2	0	2	0	2	0	0	0
計	5, 228	257	4. 9	137	0	0	16	1	2	38	9	2	37	27	23	2	10	24
合 計	18, 006	1, 001	5. 6	418	0	3	76	5	17	93	18	3	129	99	51	16	33	74

#### イ)子宮頸がん検診

子宮頸がん検診の受診者数とその結果は表 14 のとおりであった。要精検率は 3.8%(NILM\*を除いた場合は 1.8%)で、前年度 4.5%と比べて 0.7 ポイント減少した。NILM は 37 人。 精検受診率は 32.8%(NILM を除いた場合は 39.4%)、子宮頸がんは 0 人であった。 \*Negative for Intraepithelial Lesion or Malignancy: 推定病理診断「非腫瘍性病変 HPV 感染以外の炎

\*\*Negative for Intraepithelial Lesion or Malignancy:推定病理診断「非腫瘍性病変 HPV 感染以外の炎症所見」の意。出典 「ベゼスタシステムの基礎と実践ーその理解のために」日本細胞診断学推進協会細胞検査士会

表 14 子宮頸がん検診の実施成績

受	要	要			,	精く検	結	果
	精	精	要 精	精 検	·····································	精 検 要		 異
診			検	受		*	の	常
者			率	診		形		
			%				疾	な・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
数 	数	%	<b>※</b> 1	数	<u>ん</u>	成	患	L
73	6	8. 2	1.4	1	0	0	1	0
140	8	5. 7	2. 9	3	0	1	1	1
143	9	6. 3	3. 5	0	_	_	_	_
237	13	5. 5	3. 0	5	1	0	3	1
227	17	7. 5	3. 5	4	1	2	1	0
317	11	3. 5	1. 6	5	0	2	4	0
279	5	1.8	1. 1	4	0	1	2	1
164	0	0.0	0.0	_	_	_	_	_
131	1	0.8	0.0	1	0	0	1	0
105	0	0.0	0.0	_	_	_	_	_
31	0	0.0	0.0	_	_	_	_	_
0	0	_	_	_	_	_	_	_
0	0	_	_	_		_	_	_
1, 847	70	3.8	1.8	23	2	6	13	3
	者 数 73 140 143 237 227 317 279 164 131 105 31 0	大名 大名 大名 大名 大名 大名 大名 大名 大名 大名 大名 大名 大名 大	検     検       者     率       数     %       73     6     8.2       140     8     5.7       143     9     6.3       237     13     5.5       227     17     7.5       317     11     3.5       279     5     1.8       164     0     0.0       131     1     0.8       105     0     0.0       31     0     0.0       31     0     0.0       0     0     —       0     0     —       0     0     —	横 横	者     検     検     模率       数     数     %     者       数     %     数       73     6     8.2     1.4     1       140     8     5.7     2.9     3       143     9     6.3     3.5     0       237     13     5.5     3.0     5       227     17     7.5     3.5     4       317     11     3.5     1.6     5       279     5     1.8     1.1     4       164     0     0.0     0.0     -       131     1     0.8     0.0     1       105     0     0.0     0.0     -       31     0     0.0     0.0     -       0     0     -     -     -       0     0     -     -     -       0     0     -     -     -       0     0     -     -     -       0     0     -     -     -       0     0     -     -     -       0     0     -     -     -       0     0     -     -     -       0     0     -	者     検     検     模率     支       数     数     %     者     が       数     数     %     数     人       73     6     8.2     1.4     1     0       140     8     5.7     2.9     3     0       143     9     6.3     3.5     0     一       237     13     5.5     3.0     5     1       227     17     7.5     3.5     4     1       317     11     3.5     1.6     5     0       279     5     1.8     1.1     4     0       164     0     0.0     0.0     —     —       131     1     0.8     0.0     1     0       105     0     0.0     0.0     —     —       31     0     0.0     0.0     —     —       31     0     0.0     0.0     —     —       0     0     —     —     —       0     0     —     —     —       0     0     —     —     —       0     0     —     —     —       100     0     —     —     —<	者     検     検     検     検     を     定     定       数     数     %     者     数     が     形       数     数     %     者     数     ん     成       73     6     8.2     1.4     1     0     0       140     8     5.7     2.9     3     0     1       143     9     6.3     3.5     0     —     —       237     13     5.5     3.0     5     1     0       227     17     7.5     3.5     4     1     2       317     11     3.5     1.6     5     0     2       279     5     1.8     1.1     4     0     1       164     0     0.0     0.0     —     —     —       131     1     0.8     0.0     1     0     0       105     0     0.0     0.0     —     —     —       31     0     0.0     0.0     —     —     —       0     0     —     —     —     —       0     0     —     —     —     —       0     0     —     —	者     検     検     検     校     交     お     形     他の疾       数     数     %     数     が     成     思       73     6     8.2     1.4     1     0     0     1       140     8     5.7     2.9     3     0     1     1       143     9     6.3     3.5     0     -     -     -       237     13     5.5     3.0     5     1     0     3       227     17     7.5     3.5     4     1     2     1       317     11     3.5     1.6     5     0     2     4       279     5     1.8     1.1     4     0     1     2       164     0     0.0     0.0     -     -     -     -       131     1     0.8     0.0     1     0     0     1       105     0     0.0     0.0     -     -     -     -     -       31     0     0.0     0.0     -     -     -     -     -       31     0     0.0     0.0     -     -     -     -     -       0     0 </td

\*\*1 NILM 除く

# ウ) 肺がん検診(エックス線)

肺がん検診(エックス線)の受診者数とその結果は表 15 のとおりであった。要精検率は 3.5%で、前年度 1.2%と比べて 2.3 ポイント増加した。

精検受診率は20.0%であった。

表 15 肺がん検診(エックス線)の実施成績

	年	受	要	要	精		精	検	結	果	
			精	精	検	原	肺	そ	 肺	そ	異
	歯令	診			受	発	が	の		の	常
	nth	<b>+</b> -/	検	検	診	性	h	他	結	他	币
	階	者	者	率	者	肺 が	疑	が		疾	な
	級	数	数	%	数	ん	い	h	核	患	L
男	~39 歳	295	3	1. 0	1	0	0	0	0	1	0
性	40~44 歳	191	2	1.0	0	_	_	_	_	_	_
	45~49 歳	244	11	4. 5	1	0	0	0	0	0	1
	50~54 歳	375	11	2. 9	3	0	0	0	0	2	1
	55~59 歳	364	15	4. 1	2	0	0	0	0	1	1
	60~64 歳	257	12	4. 7	2	0	0	0	0	0	2
	65~69 歳	74	4	5.4	3	0	0	0	0	3	0
	70~74 歳	20	1	5.0	0	_	_	_	_	_	_
	75~79 歳	3	1	33. 3	0	_	_	_	_	_	_
	80 歳~	1	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	計	1, 824	60	3. 3	12	0	0	0	0	7	5
女	~39 歳	91	2	2. 2	0	_	_	_	_	_	_
性	40~44 歳	129	1	0.8	0	_	_	_	_	_	_
	45~49 歳	190	3	1.6	0	_	_	_	_	_	_
	50~54 歳	275	13	4. 7	2	0	0	1	0	0	1
	55~59 歳	188	13	6. 9	4	0	0	0	0	1	3
	60~64 歳	115	8	7. 0	2	0	0	0	0	1	1
	65~69 歳	27	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	70~74 歳	10	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	75~79 歳	3	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	80 歳~	2	0	0.0			_	_	_	_	_
	計	1, 030	40	3. 9	8	0	0	1	0	2	5
	合 計	2, 854	100	3. 5	20	0	0	1	0	9	10

# エ) 肺がん検診(喀痰)

肺がん検診(喀痰)の受診者数とその結果は表 16 のとおりであった。要精検者数は 0 人で前年度 0 人と変化がなかった。

表 16 肺がん検診(喀痰)の実施成績

	年	受	要	要	精		精	検	結	果	
			精	精	検	原	肺	そ	肺	そ	異
	龄	診			受	発	が	の		の	常
	階	<del></del>	検	検	診	性	ん	他	結	他	173
	咱	者	者	率	者	肺 が	疑	が		疾	な
	級	数	数	%	数	ん	い	h	核	患	L
男	~39 歳	217	0	0.0	_		_	_	_	_	_
性	40~44 歳	127	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	45~49 歳	130	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	50~54 歳	236	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	55~59 歳	125	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	60~64 歳	83	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	65~69 歳	40	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	70~74 歳	18	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	75~79 歳	6	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	80 歳~	0	0	_	_		_	_	_	_	_
	計	982	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
女	~39 歳	36	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
性	40~44 歳	44	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	45~49 歳	43	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	50~54 歳	60	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	55~59 歳	6	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	60~64 歳	5	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	65~69 歳	2	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	70~74 歳	0	0	_	_	_	_	_	_	_	_
	75~79 歳	0	0	_	_	_	_	_	_	_	_
	80 歳~	0	0	_				_	_		_
	計	196	0	0.0	_	_	_	_	_	_	_
	合 計	1, 178	0	0. 0	_	_	_	_	_	_	_

# オ)乳がん検診

乳がん検診の受診者数とその結果は表 17-(1)  $\sim$  (2) のとおりであった。要精検率は 10.3%で、前年度 6.7% と比べて 3.6 ポイント増加した。

表 17-(1) 乳がん検診の実	施成績
全体の受診者数(人)	2, 484
全体の精検者数(人)	257
全体の要精検率(%)	10.3

#### 表 17-(2) 乳がん検診の実施成績 (検査種類別)

	■₹	ンモ	グラフ	ィーキ	食査+	·乳腺	超音》	皮検査	ī	■マン	モグラ	フィ-	一検査	のみ					■乳腺	超音	皮検査	のみ					
年	受	要	要	精	;	精	検	結	果	受	要	要	精	<del>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</del>	请	倹	結	果	受	要	要	精	<del>,</del>	精	検	結	果
龄	診	精	精	検	乳	乳	線	そ	異	診	精	精	検	乳	乳	線	そ	異	診	精	精	検	乳	乳	線	そ	異
		検	検	受 診	が	腺	維	の他	常		検	検	受 診	が	腺	維	の他	常		検	検	受 診	が	腺	維	の他	常
階	者	者	率	者			腺	疾	な	者	者	率	者		13-2-	腺	疾	な	者	者	率	者			腺	疾	な
級	数	数	%	数	ん	症	腫	患	L	数	数	%	数	ん	症	腫	患	L	数	数	%	数	ん	症	腫	患	L
~29歳	0	0	_	_	_	_	_	_	_	77	3	3. 9	1	0	0	0	0	1	188	4	2. 1	0	_	_	_	_	
30~34 歳	3	1	33. 3	1	0	1	0	0	0	62	9	14. 5	5	0	2	0	0	3	148	4	2. 7	2	0	0	2	0	0
35~39 歳	9	2	22. 2	1	0	0	1	0	1	117	18	15. 4	8	0	5	0	1	2	173	5	2. 9	3	0	1	1	1	0
40~44 歳	8	3	37. 5	3	0	0	0	1	2	208	30	14. 4	15	0	4	2	2	7	76	0	0.0	_	_	_	_	_	_
45~49 歳	7	0	_	_	_	_	_	_	_	315	44	14.0	18	0	3	1	5	9	84	4	4. 8	3	1	1	1	0	0
50~54 歳	9	6	66. 7	4	0	1	0	1	2	285	45	15.8	17	0	5	2	2	8	84	1	1. 2	0	_	_	_	_	_
55~59 歳	5	1	20.0	1	0	1	0	0	0	169	28	16.6	11	0	2	1	1	7	65	1	1. 5	0	_	_	_	_	_
60~64 歳	15	1	6.7	1	0	0	0	0	1	108	24	22. 2	19	0	7	1	4	7	55	0	0.0	_	_	_	_	_	_
65~69 歳	24	3	12. 5	2	0	1	0	0	1	62	9	14. 5	5	0	0	0	2	3	62	3	4. 8	2	1	1	0	0	0
70~74 歳	12	2	16.7	2	0	0	0	1	1	20	6	30.0	4	0	0	0	0	4	28	0	0.0	_	_	_	_	_	_
75~79 歳	0	0	_	_	_	_	_	_	_	1	0	0.0	_	_	_	_	_	_	3	0	0.0	_	_	_	_	_	_
80 歳~	0	0	_			_	_	_		0	0		_		_	_	_		2	0	0.0			_	_		
計	92	19	20. 7	15	0	4	1	3	8	1, 424	216	15. 2	103	0	28	7	17	51	968	22	2. 3	10	2	3	4	1	0

# カ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者数とその結果は表 18 のとおりであった。要精検率は 4.0%で、前年度 4.4%と比べて 0.4 ポイント減少した。

精検受診率は35.3%、がんの陽性反応的中率は0.97%であった。

表 18 大腸がん検診の実施成績

	年	受	要	要	精		精	検 結	果	
	歯令	診	精	精	検	大	ポ	憩	そ	異
			検	検	受 診	腸	IJ		の	常
	階	者	者	率	衫 者	が	1		他 疾	な
	級	数	数	%	数	ん	プ	室	患	L
男	~39 歳	3, 625	114	3. 1	35	1	14	5	5 13	
性	40~44 歳	3, 577	114	3. 2	29	0	13	2	5	10
	45~49 歳	4, 143	148	3. 6	42	0	25	4	10	7
	50~54 歳	3, 739	140	3. 7	43	2	23	7	7	10
	55~59 歳	2, 939	143	4. 9	37	3	23	7	6	8
	60~64 歳	2, 611	145	5. 6	47	2	37	7	11	2
	65~69 歳	1, 607	100	6. 2	42	1	30	7	5	9
	70~74 歳	979	66	6. 7	31	0	20	1	6	7
	75~79 歳	120	14	11. 7	2	0	0	0	1	1
	80 歳~	22	2	9. 1	1	0	0	1	1	0
	計	23, 362	986	4. 2	309	9	185	41	65	65
女	~39 歳	1, 377	56	4. 1	23	0	7	0	5	11
性	40~44 歳	1, 298	47	3. 6	19	0	7	2	4	8
	45~49 歳	1, 725	62	3. 6	26	0	12	2	10	7
	50~54 歳	1, 895	57	3. 0	29	1	17	2	10	4
	55~59 歳	1, 489	45	3. 0	19	0	9	3	2	7
	60~64 歳	1, 288	43	3. 3	20	1	13	2	5	5
	65~69 歳	753	23	3. 1	16	2	8	6	3	4
	70~74 歳	404	16	4. 0	12	0	6	2	2	3
	75~79 歳	34	3	8.8	0	_	_	_	_	_
	80 歳~	9	1	11. 1	0		_	_	-	_
	計	10, 272	353	3. 4	164	4	79	19	41	49
	合 計	33, 634	1, 339	4. 0	473	13	264	60	106	114

# キ)特定健診

特定検診の受診者数とその結果は表  $19-(1)\sim(3)$  のとおりであった。メタボリックシンドローム判定の基準該当割合は 16.1%で、前年度 15.7%と比べて 0.4 ポイント増加した。

表 19-(1) 基準該当割合

基準該当者数(人) 3,654 受 診 者 数(人) 22,669 基準該当割合(%) 16.1

表 19-(2) 特定健診の実施成績

	年		メタオ	メタボリックシンドローム		階層化			たし	たばこ		満	血	圧	尿 検	查		
	齢階	診者	基準	予 備 軍	非該	判定	積 極 的	動 機 付 け	情報	判定	吸	吸 わ た	実 施	有 所 見	実施	有 所 見	実 施	有 所 見
			該	該	N/z	不	支	け 支 援	提	不	~	ない	**L	者	地上	者	44L	者
	級	数 ————		当	当	能	援 	<b>技</b>	供	能	うう	ر۱ ا	数 	数	数 ———	数	数 	数
男	40~44 歳	2, 890	330	468	2, 085	7	552	328	2, 006	4	1, 121	1, 769	2, 889	1, 283	2, 890	1, 051	2, 886	219
性	45~49 歳	3, 460	575	640	2, 236	9	873	460	2, 123	4	1, 300	2, 160	3, 460	1, 757	3, 460	1, 584	3, 459	292
	50~54 歳	3, 265	687	589	1, 984	5	903	460	1, 899	3	1, 160	2, 105	3, 265	1, 714	3, 265	1, 589	3, 260	335
	55~59 歳	2, 278	569	413	1, 288	8	670	341	1, 264	3	705	1, 573	2, 278	1, 251	2, 278	1, 245	2, 274	267
	60~64 歳	1, 859	502	303	1, 049	5	532	290	1, 034	3	528	1, 331	1, 859	993	1, 859	1, 105	1, 858	246
	65~69 歳	1, 066	322	165	579	0	0	488	578	0	265	801	1, 066	575	1, 065	666	1, 064	149
	70~74 歳	731	217	117	396	1	0	327	403	1	142	589	731	394	731	497	731	108
	計	15, 549	3, 202	2, 695	9, 617	35	3, 530	2, 694	9, 307	18	5, 221	10, 328	15, 548	7, 967	15, 548	7, 737	15, 532	1, 616
女	40~44 歳	1, 156	20	48	1, 081	7	30	85	1, 034	7	64	1, 092	1, 156	383	1, 156	207	1, 155	46
性	45~49 歳	1, 488	38	64	1, 384	2	48	115	1, 322	3	126	1, 362	1, 488	432	1, 487	367	1, 485	63
	50~54 歳	1, 494	73	89	1, 331	1	85	156	1, 253	0	107	1, 387	1, 494	524	1, 494	512	1, 494	54
	55~59 歳	1, 085	82	70	933	0	83	131	871	0	53	1, 032	1, 085	418	1, 085	441	1, 084	34
	60~64 歳	968	119	57	790	2	102	103	761	2	51	917	968	366	968	440	968	35
	65~69 歳	616	65	45	506	0	0	145	471	0	22	594	616	244	616	354	616	32
	70~74 歳	313	55	16	242	0	0	88	225	0	14	299	313	125	313	200	312	19
	計	7, 120	452	389	6, 267	12	348	823	5, 937	12	437	6, 683	7, 120	2, 492	7, 119	2, 521	7, 114	283
	 合 計	22, 669	3, 654	3, 084	15, 884	47	3, 878	3, 517	15, 244	30	5, 658	17, 011	22, 668	10, 459	22, 667	10, 258	22, 646	1, 899

表 19-(3) 特定健診の実施成績

	年	受	肝機能		脂	質	血糖			<u> </u>		,図	眼 底		腎 臓	
	凿令	診	実	有 所	実	有 所	実	有 所	実	有 所	実	有 所	実	有 所	実	有 所
	階	者	施	見 者	施	見 者	施	見 者	施	見 者	施	見 者	施	見 者	施	見 者
	級	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数
男	40~44 歳	2, 890	2, 889	1, 239	2, 889	1, 943	2, 864	499	2, 806	47	2, 888	172	736	183	2, 025	49
性	45~49 歳	3, 460	3, 460	1, 587	3, 460	2, 438	3, 435	838	3, 364	68	3, 459	377	832	316	2, 268	114
	50~54 歳	3, 265	3, 262	1, 458	3, 262	2, 285	3, 240	1, 034	3, 189	85	3, 265	446	687	312	1, 900	185
	55~59 歳	2, 278	2, 278	931	2, 277	1, 591	2, 258	878	2, 234	94	2, 275	397	567	337	1, 395	189
	60~64 歳	1, 859	1, 856	745	1, 856	1, 269	1, 841	799	1, 816	129	1, 855	386	219	121	1, 033	184
	65~69 歳	1, 066	1, 064	407	1, 064	719	1, 060	524	1, 040	94	1, 063	254	169	87	750	154
	70~74 歳	731	730	276	730	473	730	369	723	79	727	230	158	86	503	111
	計	15, 549	15, 539	6, 643	15, 538	10, 718	15, 428	4, 941	15, 172	596	15, 532	2, 262	3, 368	1, 442	9, 874	986
女	40~44 歳	1, 156	1, 156	93	1, 156	497	1, 151	64	1, 093	248	1, 086	47	248	37	712	6
性	45~49 歳	1, 488	1, 486	161	1, 486	801	1, 480	156	1, 417	337	1, 424	103	297	65	864	28
	50~54 歳	1, 494	1, 492	262	1, 492	1, 027	1, 482	215	1, 446	165	1, 438	147	244	83	832	58
	55~59 歳	1, 085	1, 084	207	1, 084	808	1, 081	259	1, 026	65	1, 034	141	145	56	582	45
	60~64 歳	968	968	188	968	719	966	277	898	57	903	132	111	37	535	63
	65~69 歳	616	616	116	616	449	616	232	561	54	561	122	125	55	338	72
	70~74 歳	313	313	55	313	212	313	138	284	37	283	66	50	26	220	48
	計	7, 120	7, 115	1, 082	7, 115	4, 513	7, 089	1, 341	6, 725	963	6, 729	758	1, 220	359	4, 083	320
	合 計	22, 669	22, 654	7, 725	22, 653	15, 231	22, 517	6, 282	21, 897	1, 559	22, 261	3, 020	4, 588	1, 801	13, 957	1, 306

## ク)腹部超音波検診

腹部超音波検診の受診者数とその結果は表 20 のとおりであった。要精検率は 2.3%で、前年度 1.2%と比べて 1.1 ポイント増加した。精検受診率 は 33.7%であった。

表 20 腹部超音波検診の実施成績

衣 20	年	受	要	要	精受		F	Ŧ	,	臓		1	Z 1	臓	す	い臓	刖	且の	う	脾	臓	そ
	齢 階 級	診 者 数	精検者数	精 検 率 %	診 者 検数	脂 肪 肝	石 灰 化	の う 胞	肝 硬 変	血管腫	そ の 他	結石	の う 胞	そ の 他	の う 胞	そ の 他	胆石	ポリープ	そ の 他	の う 胞	そ の 他	の他
男	~39歳	1, 032	23	2. 2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
性	40~44 歳	738	4	0.5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	45~49 歳	767	11	1.4	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50~54 歳	688	28	4. 1	7	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0
	55~59 歳	518	19	3. 7	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	60~64 歳	308	6	1.9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
	65~69 歳	216	22	10. 2	6	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	70~74 歳	163	10	6. 1	10	2	0	1	0	1	2	0	0	0	1	0	3	1	4	0	1	0
	75 歳~	9	0	0.0			_	_	_	_	_		_	_	_	_		_	_		_	
	計	4, 439	123	2. 8	31	6	0	2	0	2	4	0	2	1	2	3	4	2	5	0	2	1
女	~39 歳	346	3	0.9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
性	40~44 歳	363	3	0.8	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	45~49 歳	423	3	0.7	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	50~54 歳	399	5	1.3	4	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	2	0	1	0
	55~59 歳	257	7	2. 7	4	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	60~64 歳	185	2	1.1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	65~69 歳	160	2	1.3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	70~74 歳	76	2	2. 6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	75 歳~	4	1	25. 0	0		_	_	_	_	_		_	_		_		_			_	
	計	2, 213	28	1.3	20	6	0	1	0	0	1	2	3	2	2	2	1	2	3	0	1	2
	合 計	6, 652	151	2. 3	51	12	0	3	0	2	5	2	5	3	4	5	5	4	8	0	3	3

## ケ) 前立腺がん検診

前立腺がん検診 (PSA 測定) の受診者数とその結果は表 21 のとおりであった。要精検率は 2.8%で、前年度の 2.7% と比べて 0.1 ポイント増加した。

精検受診率は26.6%、陽性反応的中率は2.1%であった。

表 21 前立腺がん検診 (PSA 測定)の実施成績

年	受	要	要	精		精	検	結	果	
數令	診	精	精	検	前	前	前	前	そ	異
		検	検	受	立	立 腺	立	立 腺	の	常
階	者	者	率	診 者	腺 が	が	腺	肥	他 疾	な
級	数	数	%	数	ん	ん 疑	炎	大 症	患	L
~39歳	704	3	0. 4	0	_	_	_	_	_	
40~44 歳	548	3	0. 5	2	0	0	0	0	0	2
45~49 歳	862	7	0.8	3	1	0	0	2	0	0
50~54 歳	2, 118	35	1.7	3	1	0	1	1	0	0
55~59 歳	1, 598	46	2. 9	10	0	0	2	8	0	0
60~64 歳	1, 282	60	4. 7	18	2	0	3	11	0	4
65~69 歳	757	39	5. 2	13	1	0	1	8	0	4
70~74 歳	475	34	7. 2	11	0	0	1	10	1	0
75~79 歳	59	5	8. 5	1	0	0	0	0	0	1
80 歳~	9	1	11. 1	1	0	0	0	1	0	0
計	8, 412	233	2. 8	62	5	0	8	41	1	11

# コ) 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症検診(骨密度検査)の受診者数とその結果は表 22 のとおりであった。有所見率は 17.1%で、前年度の 17.3%と比べて 0.2 ポイント減少した。

表 22 骨粗しょう症検診の実施成績

	H 12 0 0 7	T 17(H) 17	J < 11 C 17 C 1	
	年	受	有	有
	龄	診	所	所
	階	者	見 者	見 率
	級	数	数	%
男	~39 歳	59	4	6.8
性	40~44 歳	45	8	17. 8
	45~49 歳	49	6	12. 2
	50~54 歳	73	15	20. 5
	55~59 歳	9	3	33. 3
	60~64 歳	7	3	42. 9
	65~69 歳	1	1	100.0
	70~74 歳	2	1	50.0
	75 歳~	0	0	_
	計	245	41	16. 7
	~39 歳	36	2	5. 6
女	40~44 歳	36	4	11. 1
性	45~49 歳	48	4	8.3
	50~54 歳	77	16	20.8
	55~59 歳	14	9	64. 3
	60~64 歳	10	4	40.0
	65~69 歳	1	0	0.0
	70~74 歳	0	0	_
	75 歳~	0	0	
	計	222	39	17. 6
	合 計	467	80	17. 1

# サ) 特殊健康診断

特殊健康診断の受診者数は表23、表24のとおりであった。

表 23 法令に基づく特殊健康診断の実施状況

種別	人数
じん肺健康診断	2, 186
石綿健康診断	1, 167
有機溶剤健康診断	9, 462
鉛健康診断	420
電離放射線健康診断	1, 017
特定化学物質健康診断	22, 366
高気圧業務健康診断	24
酸等の有害物質取扱い従事者の歯科健康診断	686

## 表 24 行政指導による特殊健康診断の実施状況

種別	人数
情報機器作業健康診断	13, 891
騒音作業健康診断	4, 628
腰痛作業健康診断	466
振動業務健康診断(チェンソー・手持振動工具等)	59
有害光線健康診断(紫外線・赤外線・レーザー光線等)	1, 662

# シ)労災二次健診

労災二次健診の受診者数は 358 人で、前年度 266 人に比べる 92 人の増加となった。今年度 の結果については表 25 のとおりであった。

表 25 労災二次健診の実施成績

	年	受		1	<b>,</b> 所 」	見者	数		尿中ア	ルブミン
	蛤	診	脂	H D	LD	ф	頸 部	心 エ	受 診	有 所 見 者 数
	階	者		_	_		エコ		者	見
	級	数	質	- C	C	糖	ī	I	数	数
男	~39 歳	48	5	6	29	10	9	5	6	4
性	40~44 歳	34	4	5	22	10	15	1	3	3
	45~49 歳	59	9	8	32	22	26	8	4	3
	50~54 歳	74	13	10	30	27	53	10	7	4
	55~59 歳	69	8	7	21	30	48	7	4	3
	60~64 歳	41	4	2	14	25	33	5	4	3
	65 歳~	13	1	0	6	5	8	5	1	1
	計	338	44	38	154	129	192	41	29	21
女	~39 歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0
性	40~44 歳	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	45~49 歳	5	0	0	3	1	0	0	1	1
	50~54 歳	4	1	1	4	0	1	0	0	0
	55~59 歳	6	1	0	2	1	3	0	0	0
	60~64 歳	1	0	0	0	1	1	0	0	0
	65 歳~	2	0	0	0	1	2	0	1	0
	計	20	2	1	10	4	7	0	2	1
	合 計	358	46	39	164	133	199	41	31	22

## ス) 血液検査

血液検査の受診者数とその結果は表 26-(1)~(4)のとおりであった。

表 26-(1) 血液検査の実施成績

	年	肝	F 機 能		脂	質 質		貧	ф	1	ф	L 料	<u> </u>	ф	球数	
	齢 階 級	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有所見者数	有所見率%	受 診 者 数	有所見者数	有所見率%
男	 ~29 歳	10, 686	2, 479	23. 2	10, 868	2, 788	25. 7	10, 633	344	3. 2	10, 607	458	4. 3	6, 411	317	4. 9
性	~29 歳 30~34 歳	5, 751	1, 631	23. Z 28. 4	5, 933	2, 766	36. 3	5, 754	197	3. 2 3. 4	5, 701	323	4. 3 5. 7	3, 314	165	5.0
土	30~34	6, 075	1, 766	20. <del>4</del> 29. 1	6, 272	2, 133	30. 3 42. 0	6, 077	226	3. <del>4</del> 3. 7	6, 109	323 447	7. 3	3, 314 4, 020	268	6.7
	40~44 歳	6, 303	1, 700	30.8	6, 444	3, 018	46.8	6, 268	288	3. <i>1</i> 4. 6	6, 348	595	7. 3 9. 4	4, 020 4, 125	316	7.7
	45~49 歳	7, 622	2, 419	31. 7	7, 804	3, 954	50.7	7, 560	428	5. 7	7, 749	1, 217	15. 7	4, 723	373	7. 7
	50~54 歳	7, 022	2, 419	30. 6	7, 299	3, 698	50. <i>7</i>	7, 300	462	6. 5	7, 749	1, 470	20. 3	4, 797	344	8. 0
	55~59 歳	5, 383	1, 525	28. 3	5, 444	2, 670	49. 0	5, 287	442	8. 4	5, 426	1, 470	26. 9	3, 012	213	7. 1
	60~64 歳	4, 905	1, 317	26. 9	4, 951	2, 278	46. 0	4, 888	527	10.8	4, 932	1, 558	31. 6	2, 690	170	6. 3
	65~69 歳	3, 057	682	22. 3	3, 133	1, 371	43.8	3, 158	430	13. 6	3, 132	1, 140	36. 4	1, 781	108	6. 1
	70 歳~	2, 384	476	20. 0	2, 372	940	39. 6	2, 386	437	18. 3	2, 388	909	38. 1	1, 337	83	6. 2
	計	59, 354	16, 436	27. 7	60, 520	25, 507	42. 1	59, 119	3, 781	6. 4	59, 647	9, 574	16. 1	35, 788	2, 357	6.6
女	~29 歳	5, 606	231	4. 1	5, 625	1, 111	19. 8	5, 827	703	12. 1	5, 480	142	2. 6	2, 433	208	8. 5
性	30~34 歳	2, 310	144	6. 2	2, 315	547	23. 6	2, 252	409	18. 2	2, 268	78	3. 4	858	70	8. 2
'	35~39 歳	2, 376	165	6. 9	2, 371	643	27. 1	2, 354	486	20. 6	2, 352	100	4. 3	1, 155	63	5. 5
	40~44 歳	2, 887	204	7. 1	2, 880	894	31.0	2, 854	721	25. 3	2, 870	157	5. 5	1, 409	99	7. 0
	45~49歳	3, 776	345	9. 1	3, 764	1, 399	37. 2	3, 729	896	24. 0	3, 756	270	7. 2	1, 857	141	7. 6
	50~54 歳	3, 980	521	13. 1	3, 970	2, 065	52. 0	3, 937	601	15. 3	3, 963	434	11. 0	1, 830	115	6.3
	55~59 歳	3, 083	407	13. 2	3, 084	1, 744	56. 5	3, 063	225	7. 3	3, 077	447	14. 5	1, 314	53	4. 0
	60~64 歳	2, 739	346	12. 6	2, 734	1, 575	57. 6	2, 727	216	7. 9	2, 731	464	17. 0	1, 184	32	2. 7
	65~69 歳	1, 649	215	13. 0	1, 654	859	51.9	1, 659	192	11.6	1, 657	359	21. 7	847	35	4. 1
	70 歳~	1, 315	284	21.6	1, 315	551	41.9	1, 330	316	23.8	1, 330	398	29. 9	730	61	8. 4
	計	29, 721	2, 862	9. 6	29, 712	11, 388	38. 3	29, 732	4, 765	16.0	29, 484	2, 849	9. 7	13, 617	877	6. 4
	 合 計	89, 075	19, 298	21. 7	90, 232	36, 895	40. 9	88, 851	8, 546	9. 6	89, 131	12, 423	13. 9	49, 405	3, 234	6. 5

表 26-(2) 血液検査の実施成績

	<del></del>	腎	機能	É	膵	機能	É	尿	西	Ć	ペプシ	ンノゲン	/検査	N.	Γ-proBN	Р
	齢階	受 診 者	有所見者数	有 所 見 率	受 診 者	有 所 見	有 所 見 率	受 診 者	有所見者数	有 所 見 率	受 診 者	有 所 見	有 所 見 率	受 診 老	有所見者数	有 所 見 率 %
	級	百 数	者	率 %	百 数	見 者 数	率 %	百 数	者	率 %	有 数	見者数	率 %	者 数	者	率
															釵	
男	~29 歳	5, 885	237	4. 0	2, 876	362	12. 6	6, 110	500	8. 2	186	0	0.0	100	1	1. 0
性	30~34 歳	3, 388	149	4. 4	1, 761	247	14. 0	3, 533	406	11. 5	96	0	0. 0	85	0	0. 0
	35~39 歳	4, 256	210	4. 9	1, 560	227	14. 6	4, 407	475	10.8	97	0	0.0	171	5	2. 9
	40~44 歳	4, 591	280	6. 1	1, 401	180	12. 8	4, 545	419	9. 2	82	2	2. 4	298	10	3. 4
	45~49 歳	5, 375	379	7. 1	1, 613	220	13.6	5, 404	503	9. 3	94	1	1. 1	464	37	8. 0
	50~54 歳	5, 137	540	10. 5	1, 765	257	14. 6	5, 116	438	8.6	109	1	0. 9	476	32	6. 7
	55~59 歳	3, 855	557	14. 4	1, 572	225	14. 3	3, 812	335	8.8	81	1	1. 2	393	71	18. 1
	60~64 歳	3, 480	627	18. 0	1, 296	172	13. 3	3, 427	264	7. 7	76	1	1. 3	367	86	23. 4
	65~69 歳	2, 153	462	21.5	567	66	11.6	2, 141	153	7. 1	34	1	2. 9	302	111	36.8
	70 歳~	1, 436	391	27. 2	252	50	19.8	1, 451	82	5. 7	27	1	3. 7	255	117	45. 9
	計	39, 556	3, 832	9. 7	14, 663	2, 006	13. 7	39, 946	3, 575	8. 9	882	8	0. 9	2, 911	470	16. 1
女	~29 歳	3, 215	106	3. 3	1, 251	123	9.8	2, 886	18	0.6	64	0	0.0	50	14	28. 0
性	30~34 歳	1, 417	38	2. 7	625	68	10. 9	1, 281	15	1. 2	28	0	0.0	72	19	26. 4
	35~39 歳	1, 642	42	2. 6	637	61	9.6	1, 470	15	1.0	27	0	0.0	131	32	24. 4
	40~44 歳	1, 986	78	3. 9	851	111	13.0	1, 778	16	0. 9	53	0	0.0	208	48	23. 1
	45~49 歳	2, 645	149	5. 6	1, 114	115	10. 3	2, 384	19	0.8	47	1	2. 1	280	84	30.0
	50~54 歳	2, 704	245	9. 1	1. 157	132	11. 4	2, 450	30	1. 2	54	1	1. 9	287	84	29. 3
	55~59 歳	2, 098	253	12. 1	813	115	14. 1	1, 876	28	1.5	39	1	2. 6	263	71	27. 0
	60~64 歳	1, 815	261	14. 4	583	88	15. 1	1, 569	24	1.5	29	0	0.0	232	98	42. 2
	65~69 歳	1, 029	185	18. 0	200	26	13.0	882	11	1. 2	12	1	8.3	179	79	44. 1
	70 歳~	723	173	23. 9	59	6	10. 2	672	17	2. 5	7	2	28. 6	114	70	61. 4
	計	19, 274	1, 530	7. 9	7, 290	845	11.6	17, 248	193	1. 1	360	6	1. 7	1, 816	599	33. 0
	<del></del> 合 計	58, 830	5, 362	9. 1	21, 953	2, 851	13. 0	57, 194	3, 768	6. 6	1, 242	14	1. 1	4, 727	1, 069	22. 6

表 26-(3) 血液検査の実施成績

	年	С	型肝	炎	<u> </u>	コリ菌抗	体	С	A 19	- 9	С	A 12	2 5	С	E /	A
	齢 階 級	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 %	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 %
男	~29歳	262	0	0.0	191	23	12. 0	186	1	0. 5			_	156	4	2. 6
性	30~34 歳	132	0	0.0	76	12	15.8	139	2	1. 4	_	_	_	130	2	1. 5
	35~39 歳	246	1	0.4	209	43	20. 6	246	4	1. 6	_	_	_	241	4	1. 7
	40~44 歳	191	1	0.5	88	12	13. 6	387	4	1. 0	_	_	_	391	14	3. 6
	45~49 歳	218	0	0.0	87	13	14. 9	584	7	1. 2	_	_	_	612	30	4. 9
	50~54 歳	223	1	0.4	135	34	25. 2	582	16	2. 7	_	_	_	590	42	7. 1
	55~59 歳	120	0	0.0	103	30	29. 1	446	13	2. 9	_	_	_	461	31	6. 7
	60~64 歳	65	0	0.0	86	26	30. 2	426	10	2. 3	_	_	_	440	33	7. 5
	65~69 歳	47	1	2. 1	54	14	25. 9	363	20	5. 5	_	_	_	367	28	7. 6
	70 歳~	43	1	2. 3	47	19	40. 4	273	14	5. 1	_	_	_	283	24	8. 5
	計	1, 547	5	0. 3	1, 076	226	21.0	3, 632	91	2. 5	_	_	_	3, 671	212	5. 8
女	~29歳	326	0	0.0	76	16	21. 1	71	2	2. 8	106	4	3.8	54	0	0.0
性	30~34 歳	51	0	0.0	36	6	16. 7	88	1	1. 1	100	2	2. 0	79	0	0.0
	35~39 歳	69	0	0.0	55	17	30. 9	145	6	4. 1	169	7	4. 1	147	0	0.0
	40~44 歳	96	0	0.0	68	5	7. 4	205	4	2. 0	245	12	4. 9	224	0	0.0
	45~49 歳	108	0	0.0	73	19	26. 0	265	13	4. 9	324	9	2. 8	277	5	1.8
	50~54 歳	145	1	0. 7	85	21	24. 7	305	7	2. 3	317	3	0.9	323	12	3. 7
	55~59 歳	54	0	0.0	50	11	22. 0	274	20	7. 3	304	2	0. 7	287	7	2. 4
	60~64 歳	44	0	0.0	44	11	25. 0	251	15	6. 0	268	1	0.4	257	7	2. 7
	65~69 歳	32	0	0.0	32	8	25. 0	187	15	8. 0	204	0	0.0	190	4	2. 1
	70 歳~	30	0	0.0	10	5	50.0	115	6	5. 2	120	0	0.0	112	3	2. 7
	計	955	1	0. 1	529	119	22. 5	1, 906	89	4. 7	2, 157	40	1.9	1, 950	38	1. 9
	 合 計	2, 502	6	0. 2	1, 605	345	21. 5	5, 538	180	3. 3	2, 157	40	1. 9	5, 621	250	4. 4

表 26-(4) 血液検査の実施成績

12 20		リスルル				1 .115	<b>7</b> 台
	年	Т	Р	Α	甲	状	腺
	龄	受	有	有	受	有	有
		診	所 見	所 見	診	所 見	所 見
	階	者	者	卒	者	者	卒
	級	数	_ 数	%	数	_ 数	%
男	~29 歳	19	0	0.0	6	0	0.0
性	30~34 歳	6	0	0.0	6	1	16. 7
	35~39 歳	42	1	2. 4	3	0	0.0
	40~44 歳	85	3	3. 5	11	0	0.0
	45~49 歳	116	2	1. 7	13	0	0.0
	50~54 歳	128	1	0.8	15	0	0.0
	55~59 歳	80	2	2. 5	18	2	11. 1
	60~64 歳	78	1	1.3	5	0	0.0
	65~69 歳	55	3	5. 5	6	1	16. 7
	70 歳~	36	2	5. 6	7	1	14. 3
	計	645	15	2. 3	90	5	5. 6
女	~29 歳	4	0	0.0	5	0	0.0
性	30~34 歳	6	0	0.0	11	2	18. 2
	35~39 歳	15	0	0.0	5	0	0.0
	40~44 歳	21	0	0.0	10	1	10.0
	45~49 歳	36	1	2. 8	16	1	6. 3
	50~54 歳	38	0	0.0	18	0	0.0
	55~59 歳	38	0	0.0	12	0	0.0
	60~64 歳	32	0	0.0	15	0	0.0
	65~69 歳	23	1	4. 3	3	1	33. 3
	70 歳~	14	0	0.0	4	1	25. 0
	計	227	2	0. 9	99	6	6. 1
	 合 計	872	17	1. 9	189	11	5. 8

## セ) その他検査

その他検査の受診者数とその結果は表  $28-(1)\sim(2)$  のとおりであった。 また、前年度との有所見率の比較は表27のとおりであった。

表 27 その他検査の有所見率の前年度との比較

	有 所 見 2022 年度	率(%) 2021 年度	変化度
心電図	12. 3	12. 1	<b>↑</b> 0. 2
身 体 計 測	42. 4	41. 5	1 0.9
血 圧	19. 1	19. 9	↓ 0.8
尿 一 般 <sup>※1</sup>	4. 0	4. 3	↓ 0.3
尿 糖 検 査	3. 2	3. 0	1 0.2
聴力検査※2	8. 1	8. 8	↓ 0.7
診 察	3. 7	3. 4	↑ 0.3
胸 部 検 査*3	5. 6	6. 2	↓ 0.6
眼 底 検 査	33. 9	24. 9	<b>1</b> 9.0

<sup>\*\*1</sup> 尿一般は、蛋白、潜血、ウロビリノゲン、ケトン体、ビリルビンの結果から判定しています。
\*\*2 聴力検査は、オージオメーターによる検査または会話法による検査の結果から判定しています。
\*\*3 胸部検査は、肺がん検査(エックス線撮影)は含みません。

表 28-(1) その他検査の実施成績

	年	心	電区	]	計	測		血	圧	•	尿	一 般	<u> </u>	尿	糖	1
	齢 階 級	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 %	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 %	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 %	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 %	受 診 者 数	有所見者数	有所見率%
男	~29 歳	6, 332	345	5. 4	15, 043	4, 868	32. 4	14, 868	931	6. 3	15, 026	312	2. 1	15, 026	98	0.
性	30~34 歳	3, 230	197	6. 1	7, 290	2, 960	40. 6	7, 337	753	10.3	7, 320	165	2. 3	7, 320	76	1.0
	35~39 歳	5, 525	322	5.8	7, 489	3, 360	44. 9	7, 516	1, 078	14. 3	7, 481	191	2. 6	7, 481	133	1.
	40~44 歳	6, 071	410	6.8	7, 298	3, 375	46. 2	7, 325	1, 413	19.3	7, 292	207	2. 8	7, 292	164	2.
	45~49 歳	7, 387	812	11.0	8, 630	4, 413	51.1	8, 676	2, 285	26. 3	8, 639	302	3. 5	8, 639	381	4.
	50~54 歳	6, 936	925	13. 3	7, 927	4, 271	53. 9	7, 960	2, 407	30. 2	7, 928	346	4. 4	7, 927	459	5.
	55~59 歳	5, 222	895	17. 1	5, 753	3, 159	54. 9	5, 772	2, 076	36.0	5, 743	260	4. 5	5, 741	474	8.
	60~64 歳	4, 768	1, 033	21.7	5, 228	2, 856	54. 6	5, 239	1, 951	37. 2	5, 218	277	5. 3	5, 216	449	8.
	65~69 歳	3, 068	781	25. 5	3, 303	1, 843	55. 8	3, 301	1, 351	40.9	3, 290	201	6. 1	3, 290	337	10.
	70 歳~	2, 243	790	35. 2	2, 302	1, 257	54. 6	2, 319	988	42. 6	2, 344	158	6. 7	2, 344	250	10.
	計	50, 782	6, 510	12.8	70, 263	32, 362	46. 1	70, 313	15, 233	21. 7	70, 281	2, 419	3. 4	70, 276	2, 821	4.
女	~29歳	3, 098	116	3. 7	7, 325	2, 170	29. 6	7, 244	112	1.5	7, 177	400	5. 6	7, 177	25	0.
性	30~34 歳	1, 201	56	4. 7	2, 642	930	35. 2	2, 658	85	3. 2	2, 648	132	5. 0	2, 648	23	0.
	35~39 歳	2, 134	82	3.8	2, 548	877	34. 4	2, 556	146	5.7	2, 542	145	5. 7	2, 542	21	0.
	40~44 歳	2, 832	170	6. 0	2, 982	1, 024	34. 3	2, 999	270	9.0	2, 992	187	6. 3	2, 992	18	0.
	45~49 歳	3, 714	320	8.6	3, 881	1, 223	31.5	3, 894	598	15. 4	3, 878	251	6. 5	3, 878	44	1.
	50~54 歳	3, 916	460	11. 7	4, 091	1, 521	37. 2	4, 107	792	19.3	4, 097	192	4. 7	4, 096	94	2.
	55~59 歳	3, 068	447	14. 6	3, 217	1, 211	37. 6	3, 228	720	22. 3	3, 223	134	4. 2	3, 221	73	2.
	60~64 歳	2, 726	458	16.8	2, 862	1, 091	38. 1	2, 866	720	25. 1	2, 865	130	4. 5	2, 865	78	2.
	65~69 歳	1, 648	370	22. 5	1, 725	674	39. 1	1, 730	544	31.4	1, 732	54	3. 1	1, 732	61	3.
	70 歳~	1, 212	363	30.0	1, 186	456	38. 4	1, 202	436	36. 3	1, 369	101	7. 4	1, 369	46	3.
	計	25, 549	2, 842	11. 1	32, 459	11, 177	34. 4	32, 484	4, 423	13. 6	32, 523	1, 726	5. 3	32, 520	483	1.
	 合 計	76, 331	9, 352	12. 3	102, 722	43, 539	42. 4	102, 797	19, 656	19. 1	102, 804	4, 145	4. 0	102, 796	3, 304	3.

表 28-(2) その他検査の実施成績

	年	聴		]	診	察	<b>}</b>	胸	部検査	<u> </u>	眼	底検査	£
	齢 階 級	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有所見者数	有 所 見 %
男	—————— ~29 歳	14, 560	109	0. 7	12, 187	211	1. 7	12, 790	158	1. 2	336	13	3. 9
性	30~34 歳	7, 048	63	0.9	5, 810	133	2. 3	5, 597	105	1. 9	132	19	14. 4
	35~39 歳	7, 242	140	1.9	6, 091	154	2. 5	5, 750	168	2. 9	982	179	18. 2
	40~44 歳	7, 119	322	4. 5	6,060	162	2. 7	5, 931	223	3.8	1, 116	285	25. 5
	45~49 歳	8, 454	610	7. 2	7, 343	236	3. 2	7, 098	399	5. 6	1, 259	482	38. 3
	50~54 歳	7, 811	884	11.3	6, 630	234	3.5	6, 665	440	6. 6	1, 044	492	47. 1
	55~59 歳	5, 630	956	17.0	4, 504	209	4. 6	5, 168	407	7. 9	804	465	57.8
	60~64 歳	5, 129	1, 255	24. 5	4, 395	263	6.0	4, 984	531	10. 7	432	262	60.6
	65~69 歳	3, 128	1, 174	37.5	2, 879	189	6.6	3, 109	476	15. 3	243	135	55.6
	70 歳~	2, 095	1, 222	58. 3	2, 166	207	9. 6	2, 297	549	23. 9	0	0	_
	計	68, 216	6, 735	9.9	58, 065	1, 998	3. 4	59, 389	3, 456	5.8	6, 348	2, 332	36. 7
女	~29歳	7, 152	70	1.0	6, 469	149	2. 3	8, 531	141	1. 7	105	1	1.0
性	30~34 歳	2, 588	28	1.1	2, 317	70	3.0	2, 342	34	1. 5	58	5	8. 6
	35~39 歳	2, 440	30	1. 2	2, 232	81	3.6	2, 304	62	2. 7	251	30	12. 0
	40~44 歳	2, 844	54	1.9	2, 590	100	3. 9	2, 763	94	3. 4	390	65	16. 7
	45~49 歳	3, 700	97	2. 6	3, 305	165	5.0	3, 626	172	4. 7	455	96	21. 1
	50~54 歳	3, 949	124	3. 1	3, 480	162	4. 7	3, 774	213	5. 6	418	143	34. 2
	55~59 歳	3, 102	158	5. 1	2, 792	118	4. 2	3, 012	262	8. 7	238	91	38. 2
	60~64 歳	2, 701	226	8.4	2, 526	133	5. 3	2, 655	262	9. 9	165	66	40.0
	65~69 歳	1, 520	232	15. 3	1, 606	103	6. 4	1, 618	223	13.8	137	64	46. 7
	70 歳~	1, 048	306	29. 2	1, 184	94	7. 9	1, 156	224	19. 4	58	29	50.0
	計	31, 044	1, 325	4. 3	28, 501	1, 175	4. 1	31, 781	1, 687	5. 3	2, 275	590	25. 9
	———— 合 計	99, 260	8, 060	8. 1	86, 566	3, 173	3. 7	91, 170	5, 143	5. 6	8, 623	2, 922	33. 9

#### 2-5. 新生児先天性代謝異常検査

#### 1) 受付検体の内訳

表 29 に表すとおり、県内医療機関 34 施設から提出された受付検体数は 8,426 人 (男児 4,294 人、女児 4,130 人、不明 2 人) であった。図 2 に表すとおり、検査件数は年々減少傾向にあり、前年度 8,759 人から更に減少し 8,500 人を下回った。

採血時の哺乳状況は、良 8,200 人(97.32%)、不良 132 人(1.57%)、殆ど哺乳不能 46 人(0.55%)、注入 6 人(0.07%)、絶食 1 人(0.01%)、未記入 41 人(0.49%)であった。

### 2) 出生時体重別検体数

表 30 に表すとおり、2,000 g 未満の低出生体重児は 154 人(1.83%)であった。 また、図 3 に出生時体重別検体数を表した。

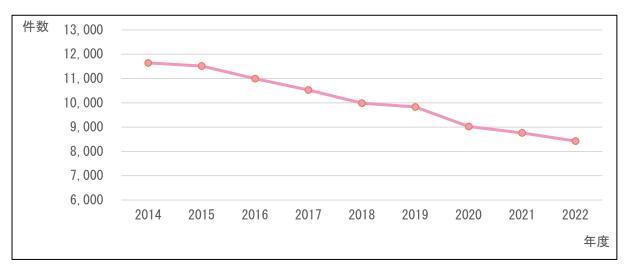
表 29 受付検体の内訳

衣 29 気付快体の内訳						
				検体数	%	
全			体	8, 426	_	
性	別	男	児	4, 294	50.96	
		女	児	4, 130	49.01	
		不	明	2	0.02	
哺乳	哺乳状態		Į	8, 200	97. 32	
		不	良	132	1.57	
		殆 哺乳	ど 不能	46	0. 55	
		注	入	6	0. 07	
		絶	食	1	0. 01	
		未訂	入	41	0.49	

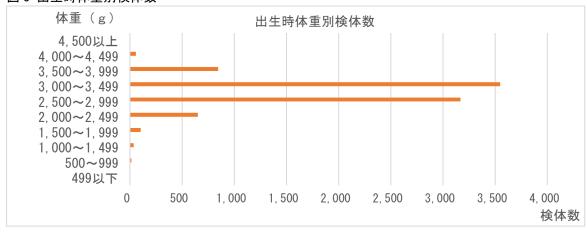
表 30 出生時体重別検体

双 00 田工的件主加拉	<b>₹</b>	
出生時体重(g)	検体数	%
499 以下	1	0. 01
500 <b>~</b> 999	14	0. 17
1, 000 <b>~</b> 1, 499	36	0. 43
1, 500 <b>~</b> 1, 999	103	1. 22
2, 000 <b>~</b> 2, 499	651	7. 73
2, 500~2, 999	3, 167	37. 59
3, 000~3, 499	3, 548	42. 11
3, 500~3, 999	846	10.04
4, 000~4, 499	58	0.69
4,500 以上	2	0. 02
2,000g以上	8, 272	98. 17
2,000g未満	154	1. 83

#### 図2 検体数の推移



#### 図 3 出生時体重別検体数



#### 3) 初回採血検体の検査結果について

表 31 に表すとおり、対象疾患別再採血率は 0.01~1.63%で、例年どおりであり大きな変化はなかった。

表 31 対象疾患別の再採血依頼数

	-	再採血依頼件数	数	直接精査	依頼件数
対 象 疾 患 名	2,000g 以 上	2,000g 未満 哺乳不能	再採血率 (%)	2,000g 以 上	2, 000g 未 満
フェニルケトン尿症	2	0	0. 02	0	0
メープルシロップ尿症	2	0	0. 02	0	0
ホモシスチン尿症	0	0	0.00	1	0
ガラクトース血症	58	2	0. 71	0	0
21-水酸化酵素欠損症	21	38	0. 70	1	0
クレチン症	129	8	1. 63	6	1
甲状腺機能亢進症	1	0	0. 01	0	0
その他の代謝異常症	17	2	0. 23	0	0
合 計	*1 230	<sup>*2</sup> 50	3. 32	8	1

<sup>\*\*1</sup> 複数項目3人(うち3項目2人) 合計225人230件\*\*2 複数項目3人(うち3項目1人) 合計46人50件

#### 4) 2,000g未満の低出生体重児または殆ど哺乳不能、絶食の児について

新生児マススクリーニングにおける低出生体重児の採血時期に関する指針では、出生体重が 2,000 g 未満の低出生体重児は、原則的には日齢  $4\sim6$  日(出生当日が日齢 0)で第 1 回目の採血を実施し、さらに①生後 1 か月、②体重が 2,500 g に達した時期、③医療機関を退院する時期のいずれか早い時期に、第 2 回目の採血を実施することが望ましいとされている。また、哺乳不能の場合も一部の疾患では、検査結果が病態を表さない可能性があるため、いずれの場合も 2 回目採血をお願いしている。

図4に表すとおり、初回採血「正常」で再採血を依頼し2回目の検査を行った結果、精密検査となったものが1件、院内検査 follow となったものが1件あった。

初回採血「正常」で再度採血を依頼した後、2回目の採血がされていないものが1件(死亡退院)あった。

「異常の疑い」となり、再採血依頼をした結果、精密検査2名、院内検査follow1名を除き、すべて正常となった。

再採血、再々採血依頼の最終検査結果は表32に表すとおりである。

図4 2,000 g 未満の低出生体重児または殆ど哺乳不能、絶食児の再採血検査結果

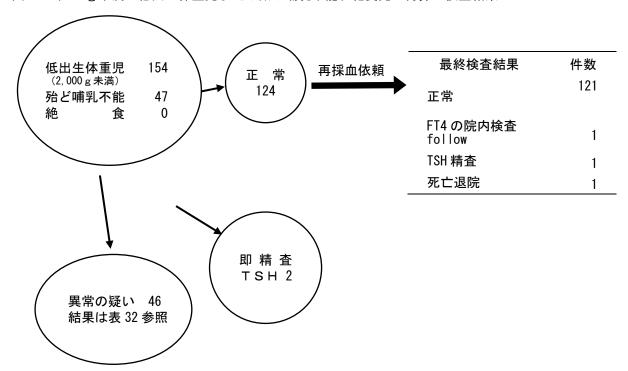


表 32 再採血、再々採血依頼の最終検査結果

対 象 疾 患 名	再 採 血 依頼人数	正常	精査	死 亡	院内検査 follow	県 外 follow
クレチン症	134	117	11	0	6	0
クレチン症 +ガラクトース血症 +その他の代謝異常症	1	1	0	0	0	0
クレチン症 +フェニルケトン尿症 +メープルシロップ尿症	1	1	0	0	0	0
クレチン症 +ガラクトース血症	1	1	0	0	0	0
21-水酸化酵素欠損症 +クレチン症 +その他の代謝異常症	1	1	0	0	0	0
21-水酸化酵素欠損症 +クレチン症	2	2	0	0	0	0
甲状腺機能亢進症	2	2	0	0	0	0
21-水酸化酵素欠損症	58	56	1	0	1	0
ガラクトース血症	60	58	2	0	0	0
フェニルケトン尿症	1	0	1	0	0	0
メープルシロップ尿症	3	2	1	0	0	0
その他の代謝異常症	20	16	4	0	0	0
合 計	284	257	20	0	7	0

#### 5) 対象疾患別の精密検査依頼数について

表 33 に表すとおり、要精査率は全体で 0.36%、項目別では  $0.01\sim0.23\%$ で例年どおりであった。

表 33 対象疾患別の精密検査依頼数

			精	査 7	内 訳
対 象 疾 患 名	精 査 依頼数	要精査率	直接精査	再検精査	低出生体重児 哺 乳 不 能 児 再 検 精 査
フェニルケトン尿症	1	0. 01	0	1	0
メープルシロップ尿症	1	0. 01	0	1	0
ホモシスチン尿症	1	0. 01	1	0	0
ガラクトース血症	2	0. 02	0	2	0
21-水酸化酵素欠損症	2	0. 02	1	1	0
クレチン症	19	0. 23	7	11	1
その他の代謝異常症	4	0. 05	0	4	0
合 計	30	0.36	9	20	1

## 6) 追跡調査結果について

要精査例の追跡調査の結果、クレチン症8例、クレチン症疑い2例、一過性甲状腺機能低下症1例、乳児一過性高 TSH 血症4例、先天性副腎過形成症1例、プロピオン酸血症1例、高フェニルアラニン血症1例、脱水酵素(SCAD)欠損症疑い1例、静脈管開存症1例、高メチオニン血症(MAT欠損症)1例、不明4例、異常なし4例、未記入1例であった。

#### 2-6. 特定保健指導

#### 1) 概要

生活習慣に基づくと考えられている肥満や脂質異常症などメタボリックシンドロームと言われているものに着目し、健診によって生活習慣病のリスクを早期に発見し、その内容を踏まえて運動習慣や食生活、喫煙といった生活習慣を見直すための保健指導や治療を行い糖尿病や脂質異常症、高血圧症などの発病を抑えることを目的として、特定健診・保健指導が実施されている。

40歳以上75歳未満の保険者の被保険者と被扶養者を対象に実施しており、協会においても医療保険者より委託を受け実施している。

特定保健指導とは受診者本人が生活習慣を改善するため具体的な改善目標をたて、実践していくことを支援するもので、特定保健指導には「積極的支援」「動機付け支援」「動機付け支援相当」の3種類の支援方法がある。健診結果をもとに各保険者が対象者を選び、特定保健指導を実施している。また当協会では健診時に、初回面接(初回面接分割型)を実施している。

#### 2) 支援内容

健診結果に基づき、腹囲またはBMI+血糖・脂質・血圧の結果+喫煙歴の有無からリスクの該当数で「積極的支援」「動機付け支援」に階層化し、各支援を行う。

各健保組合により依頼されている支援方法と支援回数が異なるため、下記の方法で支援している。

#### ①積極的支援

- ア) 初回面接支援後、1 か月ごとに電話支援を実施。5.5 か月後にアンケートを送付し、6 か月後に最終評価を電話支援で行う。
- イ)初回・1か月後に面接支援を実施。2か月後に電話支援を行い、3か月後に面接支援にて最終評価を行う。

#### ②動機付け支援

- ウ)初回面接支援後、3か月後に手紙支援または電話支援を実施、6か月後に最終評価 で電話支援を行う。
- エ)初回面接支援後、1か月後に電話支援、2か月後に手紙支援、3か月後に最終評価 を電話支援で行う。

#### ③動機付け支援相当

2年連続して積極的支援に該当した場合、1年目に比べ改善していれば、2年目の 特定保健指導は動機付け支援と同様の支援内容を行う。

#### 3) 結果

#### ①実施指導者数

実施指導全体数 225 名のうち積極的支援は 108 名、動機付け支援は 113 名、動機付け 支援相当は 4 名であった。2021 年度に比べ実施指導全体数は 12 名減少した。

#### ②脱落者数

脱落者とは何らかの理由により最終評価を実施できず、途中終了した者である。全体の脱落者は積極的支援で25名、動機付け支援で17名であった。理由としては退職や服

薬開始による資格喪失と県外異動による指導終了である。

## ③腹囲

最終評価時に平均で 2.4 cmの減少がみられた。183 人支援中 129 名の腹囲減少がみられた。

## ④体重

最終評価時に平均で 0.9 kgの減少がみられた。183 人支援中 114 名の体重減少がみられた。

## 3. 新型コロナウイルス関連事業

#### 3-1. 新型コロナウイルス検査

#### ■PCR検査

2020年7月に検査機器「ミュータスワコーg1」を導入し、市町や医療機関に対してPC R検査の実施及び県行政検査のバックアップ体制を確立した。

#### ■抗原検査

2020 年 11 月に検査機器「ルミパルスG1200plus」を導入し、県行政検査のバックアップとして保健所からの検査依頼に応えることができた。

また、山口県警察や一般企業からの検査依頼に応えられる体制を確立した。

#### ■一般の方を対象にしたPCR/抗原定量検査の実施

一般の方を対象としたPCR/抗原定量検査を2020年10月より開始し、県内在住者及び県外から来山した一般の方、また海外渡航の陰性証明書発行のためのPCR検査を実施し、県内外の一般の方のニーズに応えることができた。

表 34 に 2020 年度~2022 年度の検査実績数を表す。

表 34 検査実績

	PCR検査	抗原定量検査
2020 年度	1, 324	6, 604
2021 年度	1, 208	35, 132
2022 年度	252	9, 772

#### 3-2. 新型コロナワクチン接種事業

県内の医療従事者、山口市、防府市、周南市、柳井市及び山口県からの依頼による県広域接種(山口会場、周南会場、岩国会場、下関会場)でのワクチン接種を実施した。

表 35 に月別の接種人数を表す。

表 35 接種人数

実施月	接種人数
4 月	4, 164
5 月	974
6 月	0
7 月	10, 144
8 月	12, 445
9 月	1, 372
10 月	10, 058
11 月	16, 282
12 月	22, 173
1月	1, 046
2 月	150
3 月	91
合 計	78, 899

# 事業年報 2022年度(令和4年度)

2024年6月発行

編集長 公益事業推進室 室 長 松浦 正則

編集人 公益事業推進室 大島 愛子

保健部部 長 杉野 隆司保健部部次長 田部 一則

発 行 公益財団法人 山口県予防保健協会

〒753-0814 山口県山口市吉敷下東三丁目1番1号

TEL 083-933-0008 (代)

ホームページ https://www.yobou.or.jp